

平成29年第2回定例会会議録

招 集 年 月 日	平成29年3月9日（木曜日）			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 議	3月15日 10時00分 島袋義範議長宣言			
散 会	3月15日 16時36分 島袋義範議長宣言			
出 席 議 員 （ 応 招 議 員 ）	1	島 袋 義 範 議 員	7	渡久地 政 雄 議 員
	2	島 袋 勉 議 員	8	亀 里 敏 郎 議 員
	3	山 城 善 彦 議 員	9	知 念 一 邦 議 員
	5	内 間 広 樹 議 員	10	名 嘉 實 議 員
			11	内 田 竹 保 議 員
欠 席 議 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島袋裕次君 主 査 知念一史君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島 袋 秀 幸 君	副 村 長	名 城 政 英 君
	教 育 長	宮 里 徳 成 君	総 務 課 長	内 間 常 喜 君
	政策調整室長	宮 城 弘 和 君	建 設 課 長	金 城 和 廣 君
	教育行政課長	東 江 民 雄 君	農 林 水 産 課 長	知 念 吉 久 君
	会 計 管 理 者	宮 里 政 喜 君	福 祉 課 長	亀 里 裕 治 君
	公 営 企 業 課 長	西 江 正 君	住 民 課 長	西 江 忍 君
	商 工 観 光 課 長	万 寿 祥 久 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	島 袋 英 樹 君
	医 療 保 健 課 長	大 城 強 君	総 務 課 長 補 佐	山 城 直 也 君
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

平成29年第2回伊江村議会定例会議事日程（第5号）

平成29年3月15日（水）午前10時00分 開 議

日程	議案番号	件名
第1		村長の行政報告
第2	議案第4号	平成29年度伊江村一般会計予算（質疑・委員会付託）
第3	議案第5号	平成29年度伊江村診療所特別会計予算（質疑・委員会付託）
第4	議案第6号	平成29年度伊江村国民健康保険特別会計予算（質疑・委員会付託）
第5	議案第7号	平成29年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算（質疑・委員会付託）
第6	議案第8号	平成29年度伊江村水道事業会計予算（質疑・委員会付託）
第7	議案第9号	平成29年度伊江村船舶運航事業会計予算（質疑・委員会付託）

○ 議長 島袋義範君

ただいまから、第2回伊江村議会定例会7日目の会議を開きます。

(開議時刻10時00分)

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 村長の行政報告を行います。

村長から行政報告の申し出がありましたので、これを許します。村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

追加の行政報告をさせていただきます。

本日の行政報告は1点でございます。平成29年度の伊江村職員人事異動を昨日の3月14日に内示をいたしました。新採用5人を含めて、昇任、配置替え、派遣、20人の人事異動となっております。お手元に資料として配付しておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。以上で、行政報告とさせていただきます。

○ 議長 島袋義範君

以上で、村長の行政報告を終わります。

日程第2 議案第4号 平成29年度伊江村一般会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。歳入、款ごと質疑を許します。

1款村税。1ページから6ページまで。〔「進行」の声あり〕

2款地方譲与税。7ページから9ページ。〔「進行」の声あり〕

3款利子割交付金。10ページ。〔「進行」の声あり〕

4款県民税配当割市町村交付金。11ページ。〔「進行」の声あり〕

5款県民税株式等譲渡所得割市町村交付金。12ページ。〔「進行」の声あり〕

6款地方消費税交付金。13ページ。〔「進行」の声あり〕

7款ゴルフ場利用税交付金。14ページ。〔「進行」の声あり〕

8款自動車取得税交付金。15ページ。〔「進行」の声あり〕

9款国有提供施設等所在市町村交付金。16ページ。〔「進行」の声あり〕

10款地方特例交付金。17ページから18ページ。〔「進行」の声あり〕

11款地方交付税。19ページ。〔「進行」の声あり〕

12款交通安全対策特別交付金。20ページ。〔「進行」の声あり〕

13款分担金及び負担金。21ページ。〔「進行」の声あり〕

14款使用料及び手数料。22ページから24ページ。〔「進行」の声あり〕

15款国庫支出金。25ページから27ページ。〔「進行」の声あり〕

16款県支出金。28ページから31ページ。〔「進行」の声あり〕

17款財産収入。32ページ。〔「進行」の声あり〕

18款寄附金。33ページ。〔「進行」の声あり〕

19款繰入金。34ページ。〔「進行」の声あり〕

20款繰越金。35ページ。〔「進行」の声あり〕

21款諸収入。36ページから40ページまで。〔「進行」の声あり〕

22款村債。41ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入全般にわたって質疑を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

予算資料、総務課の資料の中に年度別起債と償還金というページはありませんが、年度別起債と償還金の資料があります。その起債と償還金のグラフがあつて、その一番下のほうに、2点ほど説明があるんですが、近年における起債額で、平成27年度8億877万2,000円で近年最大となっている。今後においては、伊江村総合運動公園整備事業により起債額が増大することが想定されるとあります。今後、想定される起債額については、どのような金額になることが想定されているか。ということが1点。

2点目、これは歳出のほうに該当すると思うのですが、償還金に関しては平成24年度まで減少傾向にあつたが、平成25年度から増加傾向に転じていると。今後減債基金を活用し、繰上償還または一括償還等の対策により公債費の縮小を検討するとあります。そこで質疑なんですけど、起債総額について、現在いくらあるか。それから辺地債、過疎債などは交付税充当されると。償還金についてはありますが、それは起債のうち、どれどれなのか。これ表がありましたら、提出していただきたいと思いますが、どうですか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

議員の御質疑に適切に答えられるか、自信がございませんが、一つ一つ答えてまいります。

まず資料の一番下の、起債額が平成27年度で8億円を超えていると。近年最大となっており、今後において起債が増額することが予想されるということになっておりますが、大体この標準的といいますか。これまでの起債の流れを毎年シミュレーション、起債担当にしてもらうわけなんですけれども、従来ですと、高く4億円ほど、そして低いときに2億円弱といった流れになっておりまして、基本的には大きくても4億円ぐらいで納まっていたのが、例年の流れでございました。ただ事業が集中する場合、あるいは大きな施設を整備する場合においては、多額の起債をしていくということになっております。ただ、シミュレーションを図っていく中でもこの実質公債費比率、そういったものも念頭に置きながらやっていくわけなんですけれども、決算によりますと実質公債費比率が平成27年度では3.8%ということで、例年より若干落ちています。ただそれについては、償還が終る時期と期間を開けてこの3年間は元金を払わないとかという据置期間がございますので、そこに入った場合に、これが落ちていくということもありますので、その辺も見定めながらやっていくことになろうかと考えております。ですから、基本的には起債する額は3億円から、4億円ぐらいが、流れとしては、この村の規模としてはいいのかと思いますけれども、そういった公債費比率を見ながら、起債していくことになろうかと考えております。

そして、起債の総額だったかと思えます。総額につきましては、平成27年度を締めましてのこの公債費の残額というのが43億円余りとなっております。

さらに、最後の質疑なのですが、起債の充当のほうなんでしょうか、交付税措置の話でしょうか。一覧表については、ございません。これは起債の手引きといいますか。専門書がございまして、この中で交付税の額というのも毎年、変動しまして、総務省のほうで単位費用とか、そういったものも毎年変わってまいります。基本的にこの制度債といいますか。交付税で措置されるこの起債の割合というのは存じ上げておりますので、説明申し上げますが、例えば今回、起債をします村債の中で、臨時財政対策債、これにつきましては10割、元利償還金の10割が後年度の交付税で措置されます。そして辺地対策事業債、まちづくりで今回、起債する予定ですけども、辺地に関しては8割、よく過疎対策事業債というのものをお借りしますが、これについては7割が返ってくるというふうになっております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

表はないということでしたが、いつ、どういう借金をしたかという表さえないんですか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

いつ、どういった起債をしたかというのは、起債台帳システム化されていましてございます。それをもとにシミュレーションをするわけなんですけれども、この表というのは多岐にわたります、相当なものになっていて、私どももこの印刷するのは少しはばかろうというか、相当な枚数になりますので、システムの中で見て、シミュレーションをしておりますので、印刷して出すというのは、難しいかと考えております。把握はできております。

○ 議長 島袋義範君

歳入全般にわたって質疑を許します。8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

1ページ、1目の個人、細節1. 個人課税分が今年、かなり増額している点、この要因ですね。

めくって13ページの細節1. 地方消費税交付金のかなりの減額になっています。その要因と。

めくりまして32ページ、細節4. 建物貸付収入、これ恐らく水利事業者の撤退だと思いますけれども、その後のこれからの今後の対策はあるかどうか。以上、3点について、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

住民課長 西江忍君。

○ 住民課長 西江忍君

歳入1ページの1目個人の現年度分の、比較増に578万9,000円の増額についてでございますが、本平成29年度の予算につきましては、平成28年度の10月分の歳入の調定額をもとに算定しておりまして、現在まだ平成28年度分の確定申告中ではございますので、まだ実際の平成29年度の税額というのは出てきませんので、前年度の所得をもとに算定をしております。それを考えますと、結構いい村内におきましては、所得が伸びた分がこの個人住民税の増額の要因だと考えております。

続きまして、歳入13ページの細節1. 地方消費税交付金2,000万円余りの減額につきましては、説明でも申し上げたんですけれども、若干この大まかな数値等については、県のほうから交付される交付金であることから、なかなか出どころがつかめないのがありますけれども、単に申し上げまして、消費税の交付金でありますので、全体的に消費喚起が悪く、消費税の収入がなかったことによる交付税の減額だと考えております。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

歳入の32ページ、財産貸付収入についての御質問かと思えます。建物貸付収入につきましては、大幅な減となっております、説明でも申し上げましたが、水利事業所の撤退といえますか。事業の完遂によりまして、今年度いっぱいということで、貸付収入が減ることになります。この財産管理といえますか、跡利用につきましては、最終的には村長に判断していただくこととなりますが、現在管理している総務課としましては、現状を見ますと、撤退後の跡利用、さまざまな御意見があると御承知をしておりますけれども、建物自体にも実は若干の老朽化といえますか。雨漏りでございまして、水回りとか、そういった指摘事項も結構あって、この改善、修繕、そういったものも必要になるかと考えております。さまざまな意見等も踏まえながら、表玄関でもありますので、少し時間をかけて修繕をしながら、どういった利用ができるのか。

模索していきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

1ページの個人課税について、当初は税金が多く見積もるということは、大変いいことなんです。去年の課税対象者が1,550人ぐらいですよ。今年が1,690人ということで、約140人ぐらいの増加という、その根拠というのは、どういうことでしょうか。それと先ほどの消費税は納得いきます。そして先ほどの32ページのこの建物収入については、今のところ賃貸するという、そういうことはまだ全くないということですね。修理を完了させてからやるということでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

住民課長 西江忍君。

○ 住民課長 西江忍君

平成29年度の予算につきましては、均等割で義務者が1,690人、所得割で1,368人おまして、この数字につきましては、先ほど申しあげましたように、昨年度の調定額をもとに算出しておまして、均等割の所得が低くて、その辺の所得割とか、その辺の課税のできない方々もおりますけれども、その単に申しあげて、やはり個人の所得の向上が一番の要因なのかなと考えております。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

この、修繕が先なのか、貸し出すのが先なのかというふうなお話にもなるかと思えますけれども、修繕も図りながら、今入っております水利事業者の事務所は、壁がつくられまして、結局、最初の初期の設計とはまた変わってきております。そこをどういうふうに活用するかで、この修繕のあり方というのも変わってくると思えますので、このどういった使い方をする用途に応じて、修繕を図っていく必要もあろうかと思えますので、小刻みに修繕をするのではなくて、しっかりとどういった利用の仕方をするということを考えながら修繕をしていくことになるのではないかと考えております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

わかりました。この建物貸付について、先ほどの総務課長の御答弁で出ましたよね。「どういう人に貸し付けるか」によって、この修理の改築の方法は違うということです。あれでしょうか。もう去年あたりから、これは撤退するという事は知っていたわけです。ですから、そういう撤退した後の、この次の貸し出しでできるような、そういう話し合いはどこにも持っていかなかったのでしょうか。そのまま対策といえますか。次の対策ということは全く立てていなかったのでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

私から少しだけ答弁をさせていただきたいと思えます。

現水利事業所が借りているターミナルの1階部分についてでございますが、全体的には総務課長が答弁したとおりでございます。そういう中である事業所からも今後において、水利事業所が撤退した後の使用についての話は非公式には伺っております。そういう中で村といたしましては、その全体的な考え方のもとに、

この事業所をもともとターミナルの要するに待合室として、つくった空間でございますので、今の現状から見たときに事務所として、今後活用していくのか。近年の観光客の推移の中で、フェリーの乗船の人数の中で、いろんな積み重ねの中で乗船する人数を制限して、ここで待機をさせたりしていますから、その辺の状況に応じて、水利事業所の事務所跡を活用して、より快適に伊江島に来られるようなことを検討の中に入れながら、今後活用していきたいということで、先ほど言ったように活用について、全部事務所の部分を取っ払って、待合所のような観光客の利便性を高めるような施設として活用していくのか。あるいは今後、そういう非公式に依頼が、要望があります事務所としてやっていくのか。またその中の中間として、一部貸し付け、一部そういう村の観光振興に資するような感じで、その空間を活用していくのか。その辺の部分は内部では、ずっとやってきまして、定まらない中でのそういう中の改修といいますか、その辺は先ほど課長が言ったように、いずれにしても今後、活用していく中では劣化が進んでいますし、その辺の点検、修理を一応は先にして、その後にそういう活用案について、要望等も意見も踏まえながら、村の中で検討していくというのが、今の状況でありまして、そういう村の全体的な観光の部分も含めまして、今後表玄関、港にありますから、そういう部分も含めて、今後活用については、検討していきたいと思っております。一部、貸し付けになるかもわかりませんが、また全部貸すのか、あるいはほとんどそういう待合所、施設みたいな感じで活用していくかという部分も積極的に今後、検討をさせていただきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

歳入、ほかに質疑ございませんか。3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

33ページ、18款1項3目2節ちゅら島づくり応援寄附金についてであります。600万円と大きな増になっておりますが、それについての説明をお願いいたします。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

18款1項3目総務費寄附金のちゅら島づくり応援寄附金の1,000万円についての御説明を申し上げます。平成25年からこの制度が始まっております。各年度ごとの増加傾向の数値を御説明申し上げたいと思っておりますが、平成25年には4件で50万円でした。平成26年が18件で217万8,000円でした。平成27年が39件439万2,000円余でございました。今年度、平成28年度が現在、245件で778万1,000円でございます。この寄附金につきましては、さまざまな議会の中でも論じられてきておりますが、前向きにプラス思考で全国に宣伝をしながら、伊江島を売りながら寄附金をふやしていく気概を持ってというお話もございましたので、今回、現在では770ですが、またそれに200万円余の増額を期待しまして、1,000万円を計上しているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

これについては今、全国的にも地域の特産品をピーアールするのに、大事だということで、今結構加熱しているわけですが、伊江村においてのこの返礼品ですか。平成28年度はどういったものがありましたでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

伊江島物産センターを基本にしまして、ピーナツ菓子、そして小麦の特産品とか、そういったものもござ

いますし、また近年ではこの農産物、例えば島ラッキョウとか、今進めておりますのはマンゴー、島でもマンゴー農家が何件かございますので、それが出荷できる返礼品としてできるようなことを考えておりますし、また伊江島牛については、今年の夏ごろから出せそうなお話を農協のほうから伺っておりますし、伊江牛についても、現在この返礼品として、お返ししている品の一つであります。

また今この委託業者のほうで掘り起こしもしていただいているわけなんですけど、水産物、そういったものについても、どうにかこの運んでいく流通のコストとあるいは流通の手法、あり方、冷凍設備というのが必要なので、そういったものもうまく活用しながら、前向きにこの返礼品については、伊江島産をピーアールできるような形で、増やしていければと考えております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

わかりました。返礼品についてはもちろん、こう特産品をピーアールするというので、本当にもう大事なことなので、ぜひやっていただきたいと思いますが、あと1点お伺いしますが、何パーセント、寄附金の何パーセントぐらいを返礼品としてやっているのでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

現在、この委託がスタートしたのが12月からなんですけれども、この返礼品のパーセンテージとしては、今は基本的に40%を想定しております。

○ 議長 島袋義範君

次、歳出。歳出も款ごとに質疑を許します。

1款議会費。1ページから2ページ。〔「進行」の声あり〕

2款総務費。3ページから21ページ。7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

2款総務費について、2点ほどお伺いしたいと思います。

はじめに、9ページの18節備品購入費なんですけれども、今回、議会車ハイブリッドのプリウスを購入することなんですけれども、今現に乗っているクラウンですか。これについての処分の方法を教えてください。これが1点と。

12ページ、9目の特別事業対策費の中の委託費、スポーツ交流センター整備基本計画策定事業の中で、いろいろと詳しくもう一度、説明をお願いしたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

9ページの18節備品購入費の自動車購入費につきましての、御質問にお答えいたします。

ハイブリット車として議会が活用する車両をとということで、御説明を申し上げました。古い車両といいですか、旧議会車をどうするかというお話だと思いますが、これにつきましては、今後も使ったほうがいいのか。あるいは処分し下取りといいですか。そのほうがいいのかということも踏まえて、今後議会事務局とも調整をして、結論を出したいと思っておりますが、いずれにしても費用対効果ですね。燃費がよければ、そのまま活用することもあるかもしれませんし、活用するのでもまたちょっと、費用がかかるよということであれば、下取りということになるかもしれません。まだ、決定はしておりません。

○ 議長 島袋義範君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮城弘和君

12ページの委託料のスポーツ交流センター、整備基本計画策定策定業務について、御説明させていただきたいと思います。御承知のとおり、沖縄県は日本有数のキャンプ、合宿地としてニーズが高いことから、スポーツも沖縄観光の資源として、その役割は大きいものになっているところでございますが、本村においても今後、総合運動公園施設の効率的な有効利用に向けて、合宿大会イベント等の誘致活動を積極的に展開して、地域活性化の促進に取り組んでいく考えでございます。その中で大学、高校、中学校等のスポーツ合宿大会等の誘致を推進するためには、合宿人員の多い団体を収容できる宿泊施設の整備は必要不可欠なものと考えてございまして、合宿施設の整備につきましても、雇用創出や地域、消費拡大等の波及効果も期待されることから、合宿施設の整備方針及び導入機能、規模等の整備をするとともに既存施設の利活用、それと民間活用の導入等を踏まえた事業手法の検討など、多面的総合的に判断するために、基本計画を策定するというところでございます。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

議会車については、まだ処分検討をということなんですけれども、私はずっと車について、メーター数どのぐらい走っているのか、見る機会があったものですから確認したら、歴代議長の皆さんが本当に上等に乗ってくれたおかげで、余り距離も走ってなくて、今のあのタイプであの年式で、恐らくこのトヨタの本社あたりも、あるいはまたネット販売とかある中で、結構な値段するんじゃないかという期待感もあったものですから、今お伺いしたんですけれども、まだこれ下取りもするというのも検討中だということですので、その車については、相当利用価値のある車だと思いますので、処分するに当たっては、下取りあるいはトヨタ本社等とかにも確認をして、やってもらいたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

御意見を踏まえながら、より利活用したほうがいいのか。下取りをして、高値でまた下取りしていただけるのか。その辺も精査しながら、議会事務局とも調整を図っていきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

歳出9ページ、14節の細節8. 借上料について、もう一度、御説明をお願いします。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

細節8. 借上料でございますけれども、現在の北海岸リーフフィールド公園側、入り口側ですね。下においていく手前なんですけれども、そこに村内事業所の土地がございます。その借上料として計上するものでございます。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内 間 広 樹 議員

個人有地ですか。企業有地、わかりました。何社で、面積がどのぐらいあるのか、お伺いします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

若干、説明不足でございました。

村内の事業所、企業ですね。1社の土地でございまして、2万4,760平方メートルでございます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名 嘉 實 議員

歳出7ページ、細節146. これについてももう一度説明をしていただきたいということ。

それから細節142. マイナンバー中間サーバ負担金に関連して、マイナンバーカードの交付対象人数と、それからカード発行数について、伺います。

それから細節140. について、関連して質疑をしたいんですが、村長の施政方針で施政方針の2ページに、オスプレイの墜落問題について述べられているんですが、県内ではもうほとんどオスプレイは墜落したという認識だと思うんですが、我々村議会も抗議決議を上げたときに墜落という言葉を使いました。ところが米軍は不時着、それから政府は不時着水というふうに使っています。村長がオスプレイの落下事故というふうに使ったことの意味について、単なる間違いなのか。それとも政治的意図があるのかどうか。それについて伺います。

それから、歳出15ページ、13節の細節115. 通知カード等というふうにあるんですが、もう一度、説明をしていただきたいと思います。何の通知カードなのか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

まず1点目、7ページの細節146. 情報セキュリティクラウド負担金についての御質問だったと思います。それにつきましては、現在、セキュリティ強化対策事業というのを繰り越し事業なんですが、やっております、インターネットと基幹系のLGWAN、そういったものを分離するという作業で、セキュリティが高まるということで、現在やっているところでございますが、それが完成後、その運用経費について、全市町村が負担をし、県のほうでまとめて、県でまとめる事業もございますので、それに活用するための市町村の負担金として、計上しているものでございます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西 江 忍 君

名嘉議員の質疑の中で、個人番号カードの交付枚数ということがございましたので、私のほうでお答えさせていただきます。

現在、村民の方が申請をした枚数が527件ございます。うち、伊江村に到着している分が478枚ございまして、その到着後、この番号カードが顔写真と情報等が間違っていないか、役場のほうで確認いたします。その後、個人へ引き取りの案内のハガキを送っております。現在、交付されているのが372枚で、交付率でいきますと78%が交付されております。

交付対象人数と申しますのは、村民すべてが対象になります。これは一番最初、通知カードが各世帯に交

付された人数でございますので、4,707名の方が対象になっております。

続きまして、歳出の15ページ、通知カード等関連事務委託料につきましては、これは名嘉議員の質疑でいう、個人番号カードの製造に関する委託料でございます。国から100%入ってきて、地方公共団体システム機構へ委託する費用でございます。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

施政方針の中の2ページのオスプレイの表現、事故の表現についてですが、落下事故の発生などという部分で、こう述べておりますが、それについて何か政治的な意図があるかということですが、そういうことは一切ありません。落下事故という部分は、議会の中でも使われている墜落事故と同じ範疇だと思っております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

マイナンバー、カードの発行については、対象人数の何パーセントなのかということは、述べられませんでした。ただ申請数に対する割合は割れたんですが、交付対象人数に対する発行枚数について、発行部数についての比率についても、述べていただきたいということ。

それから村長の今の答弁ですが、落下という言葉は、墜落という言葉と同様だということですが、落下というのは、物が落ちるといふように、ただ単に物が落ちるといふ捉えられるんですね。例えばパラシュートも落下でしょう。例えば、しかし航空機事故については、墜落なんですよ。どうですか、訂正する考えはありますか。「落下」から「墜落」へ。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

名嘉議員の御指摘、今質疑があったような、その辺の表現の部分について、勉強不足で今、若干、疑義があると思いますが、私の施政方針の中では、落下、墜落でもそんなに大きな問題になっておりますので、オスプレイというのは、やはり、国とかが使っている不時着とか、その辺の部分とは違って、やはり大きな事故だったという部分からいうと、墜落も落下も施政方針を読んだ村民、あるいは多くの方々に、私の意図は通じていると思っておりますので、わざわざ「落下」を「墜落」に今後かえていくという部分については、今のところ考えておりません。私は落下、墜落でもそういう専門的な部分の使い方としては、非常に不適切であったと思っておりますが、その施政方針で述べている私の意図という部分については、不時着とか、そういう部分ではなくて、やはり事故だったという部分は、十分にこう述べている中で、伝わっていると思っておりますので、そういう部分で名嘉議員も御理解いただければと思います。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

今の落下だけではなくて、2ページには誤字もあるんですよ。落下という言葉は、米軍も使っていないし、政府も使っていないし、村長だけなんですよ。「落下」という言葉を使っているのは。だから意固地にならないで、「墜落」と訂正したほうが、広報にも載るわけですから、村民は素直に受け取ると思いますよ。どうですか。

○ 議長 島袋 義範 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋 秀幸 君

今後、検討させていただきたいと思いますが、名嘉議員にはそういう表現で相当こだわるのであれば、「オスプレイの事故」ということで、やろうかなという部分もひとつの案だと思っていますので、そういう部分で「墜落」、その辺の部分「落下」そういう表現のほうが、そんな大きな問題になるとは思っていませんでしたが、今後、検討をさせていただきたいと思います。

○ 議長 島袋 義範 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西江 忍 君

4,707人に対して、交付枚数のパーセンテージということですので、約7.9%でございます。また申請枚数につきましては527件の申請がございましたので、約10.2%ということになっております。

○ 議長 島袋 義範 君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田 竹保 議員

14ページの13節委託料の中の108. 空中写真画像データ構築業務委託料でありますけれども、これに関連して、リリーフィールド公園の中央のほうに、事業名が書かれているのがありますけれども、その中の写真が2つあります。左側にユリの絵を、近くから撮ったのと、右側にはこのリリーフィールド公園全体ではありませんが、ここには写真があるんです。しかしこの右側の写真は、どう見ても何か白い粉が落ちている感じがして、私には雪にしか見えないんですよ。この写真を変更することはできないのかどうか。

それで空中写真が今回委託でありますので、その空中写真を活用して、中央のほうのこの写真をかえることはできないのかどうか。その全体写真を見ると、今年のゆり祭りのポスター、あの入り口付近、駐車場がありますよね、右側に。そこの下のほうから海に向かって、こういうふうに写真がとってあるんです。そこが一番いいポイントだと思うんです。私もたまたま行くときに、必ずそこで写真をとりますけれども、この画像データをもとにして、今度は委託でありますけれども、来年あたりになるのかと思いますが、その辺の変更、その箇所のそういったことができればいいのだがと思います。

そしてこれ基本、空中写真ですから、今回これはドローンとか、そういったことを活用することもあるのかどうか。伺います。

○ 議長 島袋 義範 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西江 忍 君

14ページの108. 空中写真画像データ構築委託業務につきましては、今現在税、税係、農林水産課、農業委員会、建設課で使っている地籍併合図にかぶせている写真でございます。本来ですと、毎年更新できればいいんですが、なかなか単価が高いものですから、今回の空中写真につきましては、北部、市町村あわせて共同で飛行機を飛ばしまして、空中写真を撮るということになっておりまして、実際この写真が議員お説の風景画とか、そういったものに利用できるのかといたら、若干、疑問なところも残っておりまして、相当な高度から多分撮っていると思うので、若干何というか、風景的にはあまり好ましくないのかなと。平面的に、島全体を多分撮影すると思うので、若干、このデータを活用して、議員質疑の観光パネルの写真の構成というのは、難しいのかなと考えております。

○ 議長 島袋 義範 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万 寿 祥 久 君

内田議員の御質疑が、リリーフィールド公園の中央の表示ということなので、関連がございますので、答弁させていただきます。空中写真画像を活用するというお話がございまして、住民課長の細節108. のデータは活用が難しいということではありますが、平成28年度、去った5月のゆり祭りで、これは総務課のほうで、業務委託をした今年度の事業で、一度ゆり祭り期間中にドローンでの撮影は行っております。この画像につきましても、商工観光課のほうで拝見させていただきましたが、何らかの活用をするということで、検討をしております。

それと今年度、今年の第22回のゆり祭りにおきましても、また新たな業者のほうで、ぜひ撮らせてくれと。これはドローンの撮影でございます。またそういった画像を活用して、また随時いいものに。いい写真に更新をしていくということで検討させていただきますので、よろしくお願いたします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内 田 竹 保 議員

空中写真、今回それを計画をされておまして、空中写真だけにこだわるということでもありません。先ほど申し上げましたとおりのその写真が、絵が、どうも右側にあるのがどうかなというような思いがあって、今回空中写真との活用はどうなるのかという思いで質疑をしておりますので、先ほども申し上げましたあの入り口付近からの写真が一番、そのリリーフィールド公園のテッポウユリを表示するには、いいんじゃないかという思いがあって質疑をしておりますので、どうぞ向こうの中央のほうですね。あの写真をいま一度、確認してもらって、変更ができるのであれば、それも検討していただきたいということを望みます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

進行します。3款民生費。22ページから33ページまで。9番 知念一邦議員。

○ 9番 知 念 一 邦 議員

歳出27ページ、6目13節、細節の112. 新設だと思います。配食サービス委託料、これについてまた説明をお願いします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西 江 忍 君

112. 配食サービス委託料でございますが、平成28年度までは包括支援事業の中で、配食サービスを提供しておりましたが、今回介護広域連合と事務調整の中で、透析患者の部分、やはり65歳未満の方がおられて、その方々はなかなかこの介護予防事業等の中では、あまり介護認定等もまだ若くて、そういう適用もされていない方々なので、好ましくないのではないかとことでありました。その部分を分けまして、新たな細節で、その6人につきましては、配食サービス委託料ということで、細節を設けまして、デイサービスを提供していきたいと考えております。どうしても包括支援事業で入れますと、御承知のとおり老人ホームのほうへこの弁当の提供等の委託をしておりますので、契約がどうしてもひとつになってしまいますので、新たな歳出を設けまして、別々に契約をして委託をいたしまして、サービス提供を行っていきたいという考えで、新たな歳出を設けさせていただきました。

○ 議長 島 袋 義 範 君

9番 知念一邦議員。

○ 9番 知 念 一 邦 議員

65歳未満ということで、1食いくらで今、提供とかはないんですか、現在は。そして週何回、サービスされているか。

○ 議長 島袋義範君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西江 忍君

配食サービスにつきましては、週何回という規定ではなくて、あくまでも高齢者からの要望等がございまして、週1の人もいれば、週3の方もいまして、月平均ですが、平成28年度の実績見込みでは、月当たり大体329食を見ております。また、透析に係る配食につきましては、月でいきますと163食。1食当たり650円で自己負担が200円でございます。

年間で申しますと、平成28年度の見込みで、高齢者に係る分が3,948食、透析に係る分が今1,956食を見込んでいった、平成28年度の補正をさせていただきました。

○ 議長 島袋義範君

3款、ほかにありませんか。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

24ページ、19節負担金補助金及び交付金の細節1353. について、伺います。子どもの貧困対策、これは今行っている事業はどのようなものがあるかについて、伺います。これ一覧表にして、資料提供できないかどうか。それからアンケート調査をされたということですが、村長の施政方針の中にもありました11月にアンケート調査を実施したということがありましたが、その結果については、公表はできませんか。

○ 議長 島袋義範君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀里裕治君

まず名嘉議員の1点目の御質疑にお答えしたいと思います。現在どのような貧困対策を行っているかということなんですが、予算説明でも若干、御説明いたしました。まずは1点目に、福祉事業対象分で福祉課において、ファミリーサポート利用料の拡大という事業をしております。それから平成29年度に向けては、子育て支援リーフレットを作成いたします。出生時から高校生まで、村が行っている各種給付金の制度や、あるいは子育て支援の情報などを小冊子にして、配布する予定にする事業、まずこれは事業対象分でございます。

教育委員会においては、就学支援事業、それから預かり保育利用料、軽減などを事業対象分として計画しております。

村独自の対策としては、まず非課税世帯の保育料の無料化を平成29年度は実施いたします。教育委員会においては、給食費の軽減策、医療においては、子ども医療費助成事業及び貸付制度の導入などを計画しております。

一覧表でございますが、後ほどまた一覧表については、配付したいと思います。

アンケート調査も実施いたしました。それで統計も行っているところなんですが、すごいボリュームなんです。まず幼稚園の保護者、保育所の保護者、小学校の保護者、中学校の保護者を対象にして、約61項目ぐらいの内容にしております。それから教育委員会側では、中学生、小学生の児童生徒を対象に、アンケート調査をしています。それぞれの分野での統計となっておりますが、結構ボリュームもありますが、閲覧はいつでもできるようにしておりますので、そのような対応でよろしいでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名 嘉 實 議員

子どもの貧困対策と、子ども支援対策事業というのがあって、子育て支援、区分けがしにくいんですね。ですから子どもの貧困対策事業については、何か。それから子育て支援については、どういうものなのか。そういうふうに分けないと、なかなかこっちはわかりづらいんですよ。

それからもう1点は、アンケート結果については、相当なボリュームがあるということですが、何ページぐらいあるんですか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀 里 裕 治 君

名嘉議員の1点目の子育て支援事業と、貧困対策事業の区分け、わかりやすいような方法で提示できないかということで、よろしいでしょうか。その辺は、区分けした表を紙面にして、後ほど提出したいと思しますので、よろしくをお願いします。

それから、アンケートのページ数なんですけど、前にも、先ほども御説明いたしましたけど、各部門において、調査しておりますが、大体基本的には61項目、集計のページ数にして、10ページずつぐらいになります。全部でいきますと、約80ページぐらいになるのかと思っております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

休憩します。

(休憩時刻11時10分)

再開します。

(再開時刻11時12分)

民生費、ほかにありますか。2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島 袋 勉 議員

歳出24ページ、19節の負担金補助金及び交付金の中の細節125. 就労支援事業所運営補助金、説明の中で「たんぼぼ」と「ちむぐくる」に対する補助金とありますが、今現在、利用されている両事業所の利用者の人数等を教えていただきたいと思えます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀 里 裕 治 君

ただいまの島袋 勉議員の質疑にお答えしたいと思えますが、済みません、残念ながら、私どものほうでは今、資料を持っていないものですから、またそれも後ほど、答えさせていただきたいと思えます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

しばらく休憩します。

(休憩時刻11時13分)

再開します。

(再開時刻11時25分)

3款で、答弁保留がありました。福祉課長 亀里裕治君。

○ 福祉課長 亀 里 裕 治 君

島袋 勉議員の就労支援事業の利用者数なんですけど、報告させていただきます。たんぼぼで17名、ちむぐくるで10名、ぴゅあが3名となっております。ぴゅあは福祉協議会の中にあるぴゅあですね。3名です。

○ 議長 島 袋 義 範 君

4款衛生費。34ページから43ページまで。5番 内間広樹議員。

○ 5番 内 間 広 樹 議員

4款衛生費、歳出39ページ、ハブ対策費についてですけれども、この事業により村内でのハブ咬傷事故が減少しているのは、承知しているところですが、この事業の過年度の情報開示を村民から求められているこ

とに対し、村当局はどのように説明するお考えか、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

内間議員の御指摘のことにつきましては、情報公開請求事務の所管が総務課となっておりでございますので、初めに私のほうから、一連の流れを御説明申し上げます。まず、環境衛生費での委託事業に対する情報公開請求が村民から求められていることは事実であります。これまで昨年12月に2回、1月に1回、2月に1回、関係資料を当該申請者へ公開してございます。

現在、事業所管下である建設課と受注業者と事実確認及び論点整理を行っている段階にあり、この場で詳細を申し上げるのは、差し控えさせていただきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻11時27分)

再開します。

(再開時刻11時31分)

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

この事業執行に当たり、この事業の最初のころは請負業者の捕獲器設置状況を、設置後に担当課が現場を巡回していたと。確認をしていたと聞いていますが、この事業を継続する中で、担当課の引き継ぎ不足や、あるいは連携ミスによって、この確認作業が緩くなってしまったのではないかと考えられます。先ほども申し上げましたけれども、この事業によって、ハブの咬傷事故が減少し、または村民からのハブの出没情報にも迅速に対応しているということも理解していますし、村民の生活環境整備のためにも、これからもこの事業を継続していただきたいと思います。答弁にもありましたけれども、事業執行の状況確認については、監督指導する責任が村当局にはあると思っております。もっと連携を密にして、この事業が執行されるよう改善していただきたいと思います。村長いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

先ほど、休憩中に総務課長、建設課長よりも答弁がありましたとおり、昨年末から情報公開請求が複数回あったことについては、現在内部において調査段階であります。この結果については、迅速に整理をいたしまして、当該情報公開請求書に早目に回答をしていきたいと思っております。

また内間議員より御指摘のありましたことにつきましては、村として真摯に受け止め、今後の当該業務の取り組みについては、先ほど来ありましたとおり、管理体制の強化を図り、適正に事業執行できる体制を整え、万全を期して当該業務の執行に取り組んでまいりたいと強く思っているところであります。

○ 議長 島袋義範君

進行してよろしいですか。5款労働費、44ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。6款農林水産業費、45ページから61ページ。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

51ページ、畜産業費について伺います。19節の細節109. 酪農振興対策事業補助金79万円ありますが、現在、酪農家が大変、経営が厳しい状況にあります。演習場周辺に近い農家はオスプレイ配備以後、原因不明の死亡、早産、死産、あるいは母牛の死亡ということがありましたし、その後も母牛の死亡が続いています。その他の酪農家についても、経営が非常に厳しいということで廃業をした農家もいます。村としては、細節

109. では、酪農振興対策ということで、振興する名前になっているんですが、今後、酪農について、どう位置づけているか。村の考えをお伺いします。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

ただいまの名嘉議員の御質疑にお答えをしたいと思いますんですが、なかなか位置づけという中での質疑の答えになるかどうかわかりませんが、酪農家の皆さんが現在、厳しい状況にあって廃業も出てきているというその状況の中で、その酪農振興対策事業という補助金の中では、従来やっておりました乳量による輸送補助、さらには昨年度から削蹄等の補助や精液の補助などを、酪農家の皆さんからの話し合い、意見を踏まえて、そういった補助もしながら酪農の振興というんですか、維持並びに振興が図られるようにということで話し合いをしながら、現在進めているような状況にあります。

○ 議長 島袋義範君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内間広樹議員

歳出49ページ、細節123. 産地パワーアップ事業も県のほうで認定されて、交付を受けられるということでしたけれども、これは花卉の皆さんの整備等に使われるということですが、これ県のほうで作物認定されていると思いますが、こういった作物が認定されているのか、お伺いします。

それと単年度事業なのか、継続事業なのか、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

産地パワーアップ後の事業の要件として、作物の指定があるかということの御質疑だったと思いますが、この作物の種類に関しては今、該当要綱を持っておりませんので、正確なお答えはできませんが、拠点産地の指定品目というような形での指定はあったかと思いますが、詳しい作物の内容については、後ほど資料でお答えしたいと思います。

それとその事業年度に関しては、単年度の事業ではありますが、これも2カ年、3カ年続いておりまして、いつまでというこの事業の年度の最終年度については、今確認、明確なお答えができませんので、これについても、後ほどお答えしたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

同じく、歳出の49ページですが、歳出の1186. 青年就農給付金事業についてであります。前回の説明の中では、平成24年から28年まで18名、平成29年度は3名を予定しているということでありましたが、平成24年度から各年度ごとに何名ずつか、教えていただきます。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

この青年就農給付金が平成24年度から始まっております年度ごとの人数につきましては、平成24年度が5名、平成25年度が4名、平成26年度で3名、平成27年度で6名、さらに平成28年度でこれまだ確定ではございませんが、1名が認定される見込みでございます。さらに次年度も認定をしていく計画でございます。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

これ新たに農業を就農を始める皆さんにとって、大変助かる制度であります。平成28年度の今、課長のほうも1名まだはつきりしないという状況であるという話なんです。これについて昨年の9月ぐらいから、1人の農家の方が1人申請して、ちゃんとこう何と申しますか。手順を追って手続をやりました。それについて、その農家の方が年明けても何の音沙汰がないというか、連絡がないということで相談に来ていたのです。それで農林のほうへ行きまして、担当の職員と話をしましたら、ちゃんとやっていますということで、その本人ともちゃんと説明をしてやってくださいという話をしました。ところがまたついせんだってまで何もないということがありまして本人、「私も行きます」という形だったんです。ぜひ行って、課長とも相談をしてくれという話をしました。それについて、何と申しますか、その結果も私のほうに報告がありましたけれども、どうもこの途中の何も説明もないと。そういうところで、また今回行ったときに、「次年度に給付される状況だよ」と、ただ簡単にこういうふうな話があったということなんです。「これ絶対納得できない」と、本人憤慨して申しまして、それについて、課長のほうから少し、皆さんにも説明していただきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

この青年就農給付金の募集につきましては、今年度は9月に1回説明会を持って募集をかけております。その段階で3名ほど説明会に来ていたということで該当しそうな方に関して、その調書を作成していった1人の方が該当しそうだということで、さらにもう1回募集、説明会の案内をかけて、募集がなかったということで、この1名の方に関して絞って、該当の書類づくり等を進めていたところであったようです。ところが、その説明、この申請書をつくっている中で、途中でその申請者との連絡等がこちらからの連絡がうまく伝わらなかったということで、本人が大変長い間、心労をかけた。そういう状況であったようでございます。その辺につきましては、先日その方とも一緒になって話し合いを持ち、今後しっかりとした体制で認定及び受給に支障のないように進めていきたいということで、話し合いも持ったところでございますが、そういう期間、長い期間、こちらからの連絡の体制といえますか。その辺の不十分なところがあったことは、こちらからもおわびを申し上げたところでありまして、今後、そういうことのないように、この事業の活用がうまく図れるように進めていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

いろいろと話を聞いてみますと、やはり担当の職員がちゃんとこう農家の皆さん方と、連絡を密にしていないというのが一番の問題なんです。ですから、ほかの事業でも同じことだと思いますが、やはり説明というのを常にやってもらって、信頼を得るということは大事だと思いますので、どこかの市長も言っていましたよ。やはり役場の職員は営業マンだという形でやらないといけないと。また村長、市長は営業部長だという方向での話もあるとおり、やはりこういったところで、連絡を密にしてやらないと不信感も持ちますので、ぜひそういったところをやっていただきたいと思います。

そして農林も補佐もおりますし、課長やはりみずからそういったところの仕事の内容あたりとも十分に監督をして、そういうことがないようにぜひよろしく願います。村長、今のことに関して、わかっている

んでしたら、ぜひよろしくをお願いします。

○ 議長 島袋 義 範 君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋 秀 幸 君

今回のこの議案については、そういう連絡、調整ミスの中で申請されている方に御迷惑、御苦勞をかけたということで、私からもおわびを申し上げたいと思いますが、全般的に見て、今後私たち役場の職員は、その役場で仕事をしている立場、役割という部分をやはりしっかりと今後、職員を指導監督をして、やはり村民のためにお互いは役場において、仕事をしているという部分で、村民の利便性あるいは各個人からの今回の部分だけでなく、多岐多様にわたるそういう相談、あるいは申請業務がありますから、その辺を親身になって対応をして、1日も早く村民あるいは受益者の皆さんが役場に来られて相談した部分には、こういうふうに対応をして、早目にそういう解決が図られるようにという部分で、村の振興、あるいは村民の福祉の向上、あるいは産業の振興にこう頑張っていくというのが、お互いの役場の職員の大きな仕事ですので、今後今回のこの事案をまたお互い、庁議でも確認をしながら、各課において職員の業務の執行に当たって万全を期していけるように、今後取り組んでまいりたいと思っております。

○ 議長 島袋 義 範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

歳出の53ページ、15節工事請負費の中の細節1364. の説明を、再度お願いします。

○ 議長 島袋 義 範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

1364. 団体営農地保全整備事業の工事請負費に係る説明でございますが、この団体営農地保全整備事業につきましては、この予算の説明の中でも説明はいたしました。地区ごとで予算を割り振っていたのを、農地保全整備事業として3地区を1つにまとめた予算になっております。東江上第2地区、フナズ地区、東江上第1地区の3地区でございますが、フナズ地区では現場、昨日の現場回りのほうでもありました防風施設工を予定しております。東江上第1地区では、水兼農道の前に、浸透池の整備を予定いたしております。

○ 議長 島袋 義 範 君

6款、ほかにございませぬか。2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

この中には、この東江前溜池ポンプ修理のあれは入っていないんですか。説明の中では、自分はそう聞いたような感じはするんですが、それはどこに入っているんですか。

○ 議長 島袋 義 範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

東江前溜池に係るものにつきましては、委託料13節の1365. 管理省略化施設整備事業（東江前地区）そこでポンプの修繕等を図る予定でございます。

○ 議長 島袋 義 範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

この件に関して、担当に工事概要に関して、きのう詳細ございました。その中では、溜池間のポンプ、そ

れが老朽化していることによるポンプ等の改修という話を聞きました。そして今現在、東江前土地改良、旧の東江前土地改良区内の水の利用方法に関してですが、フィルター等を通しての農業用水の管理にはなっておりません。溜池から直結、その農業用水がフィルターを通さずにその旧の東江前土地改良区に使う、使用農業用水として使用している状況であります。そしてこの地区は花卉農家等、またはほかの園芸作物の方、多々おられます。その使用方法として点滴かんがいになります。一部はスプリンクラー等も使っておりますが、今の時点で花卉農家の皆さん、この土地改良区で点滴、チューブを使われているんですが、余りにも水質が悪く2年に1回ほどの点滴チューブの交換を余儀なくされている状況にあります。実際、農業用水として各圃場に給水栓ボックスが来ているんですが、余りにも水質が悪く、一部の農家は農業かん水車を利用して、定植から出荷まで、その農業用水を使わずにされている方も多々おられます。この改修に当たり、このポンプの改修だけではなく、使う農業用水に関するフィルターを通しての使用もぜひ検討してほしいと思います。この地区は、今から県営で改修される予定になっておりますが、今現在の計画ではあと四、五年後、早くて3年から4年ぐらいと伺っておりますので、それまで農家サイドにそういった末端の農業用かん水資材を2年に1回替えなさいというのは酷な話だと私は思います。ぜひ実施設計に当たり、フィルター等の導入をお願いしたいと思いますが、どうでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

ただいま島袋議員からありましたとおり、その土地改良区への整備に関しては、伊江東部地区で計画されておまして、その完成があと四、五年だということで、そこまでの間の策として、何か方法はないかという質疑だと思いますが、ただいま議員からもありましたとおり、管理省力化の中でその事業の中で、ただいまありましたフィルターの設置が可能かどうかの検討をしながら、その間、水質を何とか濾過して、うまく排水できるような形をこちらのほうでも検討していきますし、土地改良区との調整の中で、どういう方法がいいのか、今後話し合いをしながら、良質な水の供給ができるように努めていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

57ページ、2目林業振興費、細節101. 樹苗養成賃金に関連して伺います。以前はクワンソウを畑の表土流出防止策として、植えつけるために、ポット苗を無料配布していたんです。ところが現在もうゼロなんですよ。この間、私向こう回ったら、ありませんでした。これどうしてなくしたんですか。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

質問のお答えになるかどうかわかりませんが、意図的になくしたのではなくて、クワンソウについては、流出防止という観点から非常に大事な作物と思っております。現在の保持している量がないということに関しては、今後その育成に努めていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

早目に育成するようにお願いします。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

1点、お伺いしたいと思います。

57ページの2目林業振興費に関連いたしまして、1119. と1371. ハイビスカス園整備事業と振興事業についてなんですけれども、ハイビスカス園については、去った定例会の一般質問でも行ったわけなんですけれども、その後、日本ハイビスカス協会の総会が伊江島で行われたと思いますけれども、私、会議日数についても、お伺いしたけれども、その後どうなったか、まず1点お伺いしたいと思います。

○ 議長 島 袋 義 範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

日本ハイビスカス協会の総会が先日行われまして、回数も若干増えておりますが、今資料を持っておりませんで、正確な数値はお伝えできませんが、昨年より増えている状況にあります。

○ 議長 島 袋 義 範 君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

増えたということで喜んでおりますけれども、今回は園の整備事業も、整備も始まるということなんですけれども、今日までおいて、愛知花博後400品種ぐらいでしたか、譲り受けてあとに、今では1,700品種以上あるということで、その中で売り上げも昨年180万以上、確かあったと思いますけれども、今後も北海道はじめいろんなところからハイビスカスの注文を相次いでいるという喜ばしい報告もあります。その中で、以前は露地上にやって根付いたわけなんですけれども、今回施設で年間4万人以上が入園しております。これはリリーフィールドは花見期間で3万人が訪れておりますけれども、特に雨天時、今民泊受け入れ時が5万人余、伊江村に入村している中で、4万人以上が入園しているということで、ほとんど民泊の方が多いとは思うのですけれども、雨天時は特に喜ばれるんです。その中で今回また新たに整備をしていくということでありまして、今1,000品種とかいろいろとある中で、もう手狭になっているんじゃないかと思っておりますけれども、今後また増築というか、今の施設に改良するだけなのか。またこれを今あるものをまたどこかに移転するのか。その点をお伺いします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知 念 吉 久 君

ハイビスカス園の整備事業につきましては、平成27年度でこの計画の策定案ということで策定しておりますが、それに基づいた今後の整備方向になっていくかとは思いますが、新たに施設を増やすということではなくて、その中で見せ方を整備するとか、隣りにバックヤードをつくったり、それと喫茶等ですか、そのような考えの計画もございます。これらについては今後、平成29年度において、そういった整備方針について、検討しながら設計していくということになっていきますので、これからの計画ということで御理解いただきたいと思っております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

暫時休憩します。

(休憩時刻12時05分)

再開します。

(再開時刻13時30分)

6款、5番の内閣議員、7番の渡久地議員の質問の答弁保留がございますので。

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

それでは午前中に答弁を保留していた件について、お答えをしたいと思います。

まず初めに、内間議員からありました産地パワーアップ事業の対象作物についてでございますが、事業の対象作物といたしましては、水稻、工芸作物、甘蔗、野菜、花卉というふうに幅広い対象品目になっております。ただし、さらに要件がございまして、産地としてこの団体、産地一つの品目の産地としての生産コストを10%以上削減、集出荷コストを10%以上削減、販売額を10%削減、そういった目標を持ったこの生産団体への収穫機械等の補助という形になっております。

事業年度といたしましては、平成27年、平成28年、平成29年と3年間実施されておりますが、平成30年度以降については、継続して事業が実施できるのか、それはまだ未定でございます。

あと1点、渡久地議員からありましたハイビスカス協会の会員の件でございますが、村内12名、県内11名、県外54名、計77名でございましたが、去った協会の総会時には、村内17名、県内12名、県外55名、84名と増加をしているところでございます。現在、ハイビスカス協会の会員募集も随時、行っているところでございます。役場の庁議の皆さんにも入ってもらっているところでございます。議員の皆様にもぜひ協会として、入会していただいて、会を盛り上げていただければと思っております。当初、一番初めの入会金が3,000円、次年度それ以降は、毎年更新になりますので、2,000円でございますので、よろしく願いいたします。

○ 議長 島袋義範君

7款商工費行きます。62ページから66ページ。11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

65ページ、1363. アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業について、伺います。

先日の説明で3つの自治体、南城市、座間味村、伊江村ということで、50名を対象に2週間を研修、その中には5名、村出身者だということで、民泊も3日間という説明がありましたけれども、今現在、アジアユース人材育成で、別の団体でも、それアジア各地から民泊を伊江島に来るんですね。そうしますと、この団体との兼ね合いもあるのでしょうか。お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

議員お説の、今現在、アジア諸国から、団体の方が本村のほうに御来村されているということは承知しておりますが、本事業との関係性につきましては、特別にはございません。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

それでは3自治体の独自のその事業だということで、理解してよろしいですね。

毎年、その人材育成が、民泊で2泊ぐらいするものですから、その中でアジア各地から私のところにも3回ほど受け入れしているんです。非常に日本語を勉強しにきたとか、いろんな目標を持ってくるんですが、村出身、これはアジア各地から受け入れをして、村民の村出身の5名も対象にするということですが、2週間ほど、これ県内だけで2週間だということですか。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

今回のアジアユース人材育成・ネットワーク事業につきましては、まず概略をいま一度、御説明させてい

たきます。本事業は、もとは内閣府が実施していた事業でございまして、それを引き継いで沖縄県のほうで、平成23年度から7年度の5年間、沖縄県が事業主体となり、事業を実施してまいりました。沖縄県の事業終了に伴い、ぜひ内閣府のほうから非常に、人材育成を目的としたいい事業であるということから、新たな枠組みでの事業継続のほうの要請を受けました。

この3自治体につきましては、さかのぼって内閣府が事業を実施していた当初より、関係していた自治体でございまして、渡嘉敷村、南城市、伊江村、こちらの3自治体を中心にこの東南アジアから高校生を招いて、日本国内、沖縄県を含む若者が沖縄県で、当時は3週間のプログラムを組んで交流をしていました。そのうちに、伊江村のほうでのプログラムにつきましては、2泊3日の民泊体験、地域のそういったものを環境問題とか、そういったテーマを設けた研修をやっていたという経緯がございます。

一応は、伊江村のほうでは5名ということで、この全体の今回の50名の枠の中で26名が東南アジア13カ国の高校生を各国2名で、残り24名が国内の高校生となりますが、沖縄県の内訳を申し上げますと南城市が8名、伊江村5名、渡嘉敷村5名の18名で、それと加えまして県外につきましては、それぞれ各自治体で姉妹都市と結ばれている県外の都市から2名ずつという枠を今、設けております。これはあくまでも枠でございますので、そういった各自治体とゆかりのある本土の自治体の高校生も招聘をして、合計ですね。国内で24名、合計が50名という参加者のもと、約2週間、沖縄県ですね。渡嘉敷村、南城市、伊江村のほうをフィールドに交流の研修を行うという事業でございまして。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

1回目の質疑の中で、私「座間味村」と申しあげましたけれども、「渡嘉敷村」に訂正をして、質疑を終わります。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

続きまして、歳出65ページの18節備品購入費なんですけれども、今回周辺施設プランター整備事業が推交で180万円ありますけれども、今現在この周辺には、プランターがあって、さらに商工女性部のプランターとかがあって、あるんですけれども、今回何かプラントスタンドとか何か言っていましたけれども、聞き慣れない名称なんですけれども、どのような感じで今回、整備するんですか。もう一度、説明をお願いします。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

こちらの事業につきましては、今現在でもはにくすに、ターミナル棟1階ですね。切符売り場、観光協会、物産センターの前に、観葉植物のほうを設置して、景観美化といいましょうか。来た方への使いやすい施設ということで努めておりますが、本事業につきましては、プラントスタンドというものを購入いたします。どういったものかと言いますと、プランターを約3個ぐらい設置する高さのある台でございまして。わかりやすく申し上げますと、伊江島カントリークラブのほうの1階ですね。そういった同じようなスタンドがございまして。台に乗せて小さい花の苗とか、観葉植物を高いところに設置ができるというスタンドでございまして。そういったものを購入して、もっと見栄えのいい、そういった景観に努めていきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

これからいうと移動型でありますよね。これを室内だけでのあっちこっち移動したりするということが、ルーム内だけでいいですか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万 寿 祥 久 君

議員お説のとおり、移動は可能でございますが、基本的にはターミナル棟1階の周辺のほうで使用するという目的で、一応は考えております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

これは年中、花は咲かすことになると思うんですけども、決まっていますか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万 寿 祥 久 君

具体的な細かい計画については、これからまた策定をしていくという段階でございますが、季節に合った花を絶えず飾れるように、努めてまいりたいと考えております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀 里 敏 郎 議員

64ページ、午前中の内田議員と少し重なりますが、質疑をさせていただきます。細節1358。リリーフィールド公園整備事業に関連いたしまして、よく私はこの民泊の子どもたちを、必ずリリーフィールドに連れていきます。開花期間中は2週間、見せるところはたくさんあるんですけども、そのシーズンオフとなりますと、全く見せるところがなくて、大変困っているんですけども、子どもたちには、伊江島で唯一、全国放送されるんですね、少しオーバーになりますけれども、言っているんですよ。全国放送される2週間に及ぶイベントだと、ゆり祭りは。これすごい貴重なイベントだから、「ぜひ、5月ごろにNHKを見てください」とよく言うんですけども、「オジー、どこにそういう面影があるの」と言われます。そして先ほど、午前中の内田議員の説明にありました、ちょっとした写真はありますね。このリリーフィールド公園の概要を示した片方に、写真があるんですけども、いかがでしょうかね。万寿課長の斬新な企画力で、縦横10メートルぐらいのきちんとしたリリーフィールドであるという臨場感あふれる、迫力ある、そういう写真にして、そこでシーズンオフにも、子どもたちにも写真をとってもらおうと。そしたら子どもたちが帰って、全国津々浦々から来るわけですから、この宣伝効果というのは計り知れないものがあると思いますけれども、いかがでしょうか。大々的なこの臨場感あふれるこの表示物にすることは考えていませんか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万 寿 祥 久 君

リリーフィールド公園につきましては、ゆりの開花時期につきましては、まつり期間中限定ということで、その後の利用につきましても、長年ひまわりを植える等、検討はしているところでございますが、今現在は、ゆり祭り期間中のゆりの開花のみという状況で、その季節以外にお越しになられる方には、なかなか想像がつかないという状況であることは認識しております。

一応、平成29年度に公園整備の事業の実施計画は行いまして、また開花ですね。まつり期間以外にも、そういったイベントをやるとか、海岸のほうの遊歩道を整備して、そういった別なハダ群落の自然鑑賞とか、新たなそういう観光資源の活用、イベントの企画等もあわせ持ちながら、今議員お説にございました時期でないときに、来られる民泊の皆様や観光客の皆様に、そういった臨場感のある看板等でお見せできるようなものも検討してまいりたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

ぜひ予算はいとわず、これ未来永劫に続く看板ですので、ぜひ思い切って施策をとっていただいて、さすが伊江島だ、リリーフィールドだということを印象づけるということは、かなりの宣伝になるのは間違いありません。今ですと、全く我々こう民泊を受け入れる親としても、少し宣伝するのに困るんです。小さい、ここで写真を撮らすんですけれども、全く無関心ですね。「オジー、うちの花園ぐらいですよ」と言われるんですよ。あのぐらいの臨場感では、全く迫力がありませんので、村長ひとつ思い切った政策を、よろしくお願ひしたいんですけれども、いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

今回のこの新年度予算でリリーフィールド公園の整備事業という部分で、実施設計を計上しているということが、これまでありますとおり、亀里議員おっしゃるとおり、これまでリリーフィールド公園が伊江村の観光振興に果たしてきた役割というのは、万人共通して認めているわけですが、さらにせっかくある先ほど来ありますとおり、シーズンを終えたときの後の有効活用については、これまで議員はじめ多くの方々からもどうにかして、もっと活用できる方法を村として考えていくべきではないかという部分は、これまでも多くの皆さんからありますので、その辺を踏まえまして今回、この実施設計を計上してその中で今後、先ほど提案がありました部分、あるいは午前中の内田竹保議員からの提案のあった、もろもろも含めて、今後リリーフィールド公園をどのように活用して、さらに伊江島の観光の拠点施設として、どのようにして活用していくかという部分を考えるものとして、今回実施設計を計上してありますので、その辺、この実施設計の中で、議員の皆さんはじめ、観光団体そして村民の皆さん、あるいは村外にいる皆さんの意見も聞きながら、有効的に活用できるようなすばらしいこの実績をやって、段階的に着実にその辺の部分を実施をして、伊江村のリリーフィールド公園、ゆり、その辺の部分在全国にさらに発信できるような施設整備、そして多くのイベントができるような施設整備も踏まえて、考えながらこの実施設計の中でやっていきたいと思ひますし、その辺の部分が中期的に時間がかかるのであれば、短期的に提案があります看板等については先んじて、整備をするのか。基本的には、この実施設計をした整備の中で、実施できればいいかと思ひますが、そういう中で実施設計をして、なおかつ事業化をして、再整備を含めて、さらなる伊江村の観光振興の拠点施設として整備を図っていききたいということで、今回実施設計を計上しておりますので、その辺の部分については、今後多くの皆さんの意見を反映できるように、取り組んでいきたいと思ひますので、また各議員の皆さんのいろんな提言、助言をぜひお願ひしたいと思ひます。

○ 議長 島袋義範君

2番 島袋勉議員。

○ 2番 島袋勉議員

歳出の64ページの委託料、13節の委託料、103. 観光ビデオDVD制作委託料の今年度の予定と、それと

これは各細目にかかわりますので、伊江島ゆり祭り、それと伊江島一周マラソンでのポスターの現在、村の各店舗並びに事業所にポスター等、配布されていますが、その配付基準どういった基準で配付されているか。そしてマラソンに関しての配布はされていると思うんですが、ゆり祭りに関してもう配布済みかどうか、お伺いします。

○ 議長 島袋 義範 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

まず1点目の64ページ、13節委託料の103. 観光ビデオDVD制作委託料の今年度の予定という御質疑でございますが、今年度につきましては、とりあえず今、放送しております映像の中で、若干修正を伴うもの、ひとつ例を挙げますと、チューパンジャまつりが、今年度は改善センターで、実施されまして、今現映像はハイビスカス園で行っていた、ナレーションも健康福祉まつり等をあわせたという今、内容のナレーションになっておりますので、そういった部分の修正を行う予定としております。

さらにフェリーの車を航送されているお客さま向けに映像の最後で、伊江港での切符の契印のお知らせを追加して、一応やることを今考えております。

2点目のゆり祭り及びマラソンのポスターの配布の状況についてでございますが、正確な基準というものは、持ち合わせてございませんが、村内、商工会等と連携をして、村内各商店のほうには、配付しているものと認識をしております。ゆり祭りのポスターにつきましても、現在配付を行っております。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

まず最初に103. 観光ビデオDVD制作委託料に関してなんですが、午前中、内田竹保議員からもありましたとおり、ドローン等の使用に関してのDVDとか、そういった撮影では、多分この制作委託料に合致するものだと私は認識しているんですが、各観光地、ドローン等を利用して、特に湧出とか、城山、それと旅行村、ビーチ等ですね。景観を空撮することによって臨場感が大分出てきます。ぜひ、平成29年度でドローン等も利用をして、空撮も入れた新たなイメージの撮影も希望したいと思います。ぜひ、考えていただきたいと思います。

続きまして、伊江島一周マラソン、それとゆり祭りのポスター配布に関してなんですが、基準がないということなんですが、マラソンはポスターの配布はあったが、ゆり祭りに関してのポスター配布がなく、基準があるのかという話がちらほら聞こえています。ぜひですね。ポスター等に関しては、各店舗、商工会を通じてという説明もありましたが、せっかくなつくつったポスター、一つはあって、ひとつはないというのはおかしい話であって、各店舗を利用して、祭りを周知する絶好の材料としてのポスターですので、配布忘れがないように、できるだけ基準等もつくって、どこどこに配るといった一覧表等もできるだけ作成していただいて、漏れないように配布していただければと思います。また平成29年度、今年度まだ間に合いますので、その辺再度、確認してできる方向で、検討できないですか。

○ 議長 島袋 義範 君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

今のマラソン、ゆり祭りのポスター等、できれば両方、村内の店舗等に配布したほうが良いという御指摘をいただきましたが、先ほど基準はないというふうに答弁をさせていただきましたが、基準ではなくて現状ですね。配布リスト等の名簿というものは、双方兼ね備えております。これをちゃんとすり合せをして、でき

れば同時期にポスターも作成をして、一緒にお渡しできるように、こういうふうに片方だけが届くということのないように、今後努めてまいりたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

歳出64ページ、15節の細節1239. 自然と乗馬ふれあい体験による観光振興事業についてであります。これは昨日、現場を通りながら説明を受けたわけですが、今回は柵の設置と、それから土地購入という形の説明がありましたが、平成28年度は、新馬購入、新しい馬を購入ということで、4頭ほど1,000万円をかけて購入したわけですが、そしてまた今回、こういう施設整備ですね。そういったことからすれば、その地域がやはり今度運動公園という形で整備されていきますので、より多くの皆さんが訪れるわけですから、見栄えのいい、こういう施設ができれば、より一層この観光の誘致にまた一役買うのかと思って、今いるわけですが、この新馬購入をした後の営業実績といたしますか。効果といたしますか。それがわかるのであれば、ひとつよろしく願います。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

新馬購入につきましては、平成27年度事業で購入をしました。実際の導入につきましては、平成27年度末、平成28年3月に導入をされたということでございます。実際にこの新馬4頭は、調教馬4頭が活躍をして、営業に寄与している期間で申しますと、平成28年4月から利用開始ということで、経営にどのような好影響を与えたかという内容と受け止めております。平成27年度の売り上げと比較しまして、平成28年度2月時点の数字でございますと、平成28年度が713万8,000円、これが平成28年4月から、平成29年2月までの売り上げでございます。新馬導入前、調教馬導入前ですね、平成27年度の売り上げを申し上げますと、年間で4月から3月までですね。591万1,000円という数字になっておりまして、約120万円ぐらいの売り上げ増となっております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

平成28年度4月に購入しまして、だいぶ業績がよくなってきたのかと思いますが、実際に稼働したのは9月、10月ぐらいからだと思っておりますので、本当にこれからがいい結果が出せるのかなと思っておりますが、もしわかるのであれば、例えば今、ホースパークのほうでは、コースを設定していると思うんですよ。何時間コースというメニューですね。そういったことまでわかります。わかったら、よろしく願います。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

今現在、全体の売り上げの数字のほうは資料として持ち合わせておりますが、コース別等の実績等につきましては、今資料を持ち合わせておりませんので、後ほど報告させていただきます。

○ 議長 島袋義範君

進行してよろしいですか。8款土木費。67ページから75ページ。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

69ページの道路新設改良費、細節103. の未買収道路用地購入費について、伺います。700万円の計上です

が、未買収道路用地の買収予定地については、年度ごとに計画的に行われているのかということと、それから過去の実績について、場所と件数、それから金額について伺います。

次の71ページの、住宅リフォーム支援事業についてですが、事業開始からの実績について、6点ほど伺います。1つは補助金額、これは財源内訳も含めて、それから2点目に利用者件数、3点目に事業費総額、それから4点目に経済効果について、5点目に、何カ所の事業所がこのリフォーム事業にかかわってきたのか。6点目には、どういう事業が実績としてあるのか。これはもう4年目かと思いますが、実績表、表にして資料配布をしていただきたいと思いますのですが、どうでしょうか。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城 和 廣 君

道路新設改良費の中の未買収道路用地購入費の700万円の計上について、御説明いたします。この700万円の予算につきましては前年度実績を勘案して、同額計上、見込額で計上しているところでございます。年度ごとの道路用地の購入計画をして、実施しているかということにつきましては、今そこまで行っておりませんで、実際の道路の事業にあわせてその設計をし、その用地の買収等々に活用しているところでございます。

またその他のことも勘案しながら、実際には用地購入しているところではございますが、名嘉議員の御指摘の御質問の年度ごとの計画を立てての用地の購入につきましては、今のところ対応はできないところもございしますので、その辺は御理解をしていただきたいと思いますと思っております。

それから、71ページの伊江村住宅リフォーム支援事業につきましては、これまでリフォーム事業を支援事業しておりますけれども、かなりの経済効果が生まれております。実績の内容につきましては今、手元に持ち合わせてございませんので、資料を作成して、資料を提出したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋 義範 君

ただいま名嘉議員から資料要求がございましたけれども、この資料要求について、資料を提出、させることに御異議ありませんか。後ほど、資料を作成して、議員全員に配ってください。

進行します。2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

歳出71ページ、2目住宅建設費の細節15、工事請負費、1031、住宅建設事業、これは東江上の第2（仮称第2東江上団地）ですか。建設工事の請負工事費と説明を受けました。平成29年度の事業で外壁工事と、その敷地の整地ですか。工事費だとお伺いしました。この建設予定地と、それと現団地の間に、里道が走っているんですが、南のほうの旧公民館の道路に里道があります。その工事に当たり、この建設予定地とそれと今現在の団地との間の里道の取り扱いはどうなるのか、お伺いします。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城 和 廣 君

今、御質疑があった里道の件につきましては、今建設予定地の城山のほうの里道の件でございましょうか。おっしゃっている里道の位置がわからないんですけども、一応今、ゆり祭りのときに、バスが仮設のバス停留所、駐車場がありますよね。その敷地一帯がきのう御説明いたしましたけれども、その敷地一帯の外壁、外周の周辺の擁壁の工事が今年度行われるということがございますので、その辺も勘案しながら少し、里道の件もちょっと担当に聞いてから、聞きたいと思っておりますけれども、別に問題ないのかなと思っております。

○ 議長 島袋 義範 君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

これは再度課長のほうで、図面と構図を見ていただきたいと思いますが、以前からこの里道に関しては復旧できないかという要望が多々ありました。この工事に当たり、この団地内の敷地内の里道の廃止に関しては問題ないと思いますが、その団地をつくるに当たり、そこからその団地から南側の道路が結局その団地から水道のポンプ場のところですね。旧公民館のところの坂を上ってから、元のヒルトップのところに行く道と、それと南において、ヘアークラブシーケーのところを下りてくる道の2カ所しか、南側に来る道がないんですが、要望としてこの里道を復旧することによって、団地からの南側に隣接する道路があと1本ふえるということで、利便性がよくなるので、できるだけその里道に関して、再度復旧できないかという要望が何件か私のほうにも寄せられております。その用地の工事に当たり、里道の状況を確認して、里道の復旧もできないかどうか。検討できないでしょうか。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城 和 廣 君

今島袋議員がお説の里道に関しては、慎重に今後対応したいと思いますので、確認をしてそれから建設課、また庁議あたりで取り計らいまして確認をしてからまた慎重に進めていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋 義範 君

休憩します。

(休憩時刻14時10分)

再開します。

(再開時刻14時12分)

土木費ありますか。3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城 善彦 議員

73ページの4項空港費に関連してであります。前回といたしますか昨年、空港周辺のフェンス工事が行われたわけですが、そのときに担当職員に側溝、空港の周辺に結構、大きな側溝があるんです。その側溝がもうやはり劣化ですか。倒れている中のほうに、倒れている場所もありますし、ひびが入っているところもあるんです。その空港は今畜産農家が牧草を植えて、大型機械もずっと使っているわけですから、この側溝のふちまで牧草がありまして、刈り取り作業をするわけなんです。これ今のうちに補修といたしますか、改修していただかないと、もしものことがあったらいけないという感じがするんですけども、県と調整をしてできるようにお願いできないかと思いますが、よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋 義範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間 常喜 君

今年度の空港検査、平成28年度の空港検査がございまして、3年に1度なんですけれども、大阪航空局のほうから5名の調査官が来まして、施設の中を見学し、運行状況、そして保安、消防、避難経路とか、そういったものの検査を総合的に受けまして、議員のお説のこの側溝の部分についても、しっかりと見ていただいて、改修のこの御指摘もいただいているところです。これにつきましては、県の空港課の職員も立ち会いをしておりますので、なるべく早い時期に空港課と調整をしながら、特にこの修復工事等につきましては、やはり多額の工事費がかかると思います。フェンスだけでも結構な億単位で工事費がついておのますので、この側溝についても、多額の工事費が見込めますので、県の空港課と早目に調整をしまして、修復工事ができるように努めていきたいと思ひます。

○ 議長 島袋 義範 君

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城 善彦 議員

改修いただけるような方向だということで、「よし」としたいんですが、時間を要するというので、それぞれがその場所については、農家が全部、自分の畑みたいは何といいますか。分筆するという、そういう形になっています。その自分の使っている場所のこの側溝については、ある程度把握をしていますので、ぜひ応急措置的なことをぜひお願いしたいと思います。

こうヒビが入っているということは、中のほうに木でも上のほうにサポートしていただければ、倒れるのを防ぐという形もあると思いますので、時間がかかるのでありましたら、もしその間に事故でも起きたら困りますので、ぜひそういったところも、再度現場を確認していただいて、そこまでひとつ考えていただきたいと思います。

○ 議長 島袋 義範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間 常喜 君

フェンス内の中でのこの草地管理につきましては、畜産農家の縄張りといいますか。そういった区分がされているということも理解しております。その中で、そういった中身の詳細といいますか。どの辺が一番危険なのか。そして危険なところについては、応急措置ができるのかどうか。できるところから進めていければと考えておりますので、御理解をよろしくお願いいたします。

○ 議長 島袋 義範 君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里 敏郎 議員

74ページ、1目港湾建設費の細節101. 業務委託料について、いま一度御説明をお願いします。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城 和廣 君

8款以降の港湾建設費につきまして、御説明いたします。13節の委託料、細節101. につきましては、伊江湾西側港湾のクルーズ船にも対応できる機能強化と背後地整備計画を策定し、事業化に向けて取り組んでまいりたいということでの業務、青写真です。全体計画を作成しということまでの委託料の計上でございます。

○ 議長 島袋 義範 君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里 敏郎 議員

わかりました。地方港湾伊江港の抜本的な改修への私、第一歩だと思います。あえて私はこの委託料の説明を求めたかといいますと、今この1年間、ちまたで伊江港湾の整備は、絶対に進まないんだという、そういう噂が一人歩きをしております。皆さんも少々、御承知と思いますけれども、私はこのわずか100万円の予算ですけれども、これが伊江港の本当の意味の抜本的改修、そして将来には避難も可能な港湾づくりへと進んでいくという、今の行政が現在いる伊江村行政は確かに動いていることを、私は村民にも強くアピールしたいと思います。

そこで現在でいいですから、今の段階でよろしいですから、この港湾西側の大口あたりの改修について、基本的な考えがありましたら、お聞かせ願いたいと思います。村長いかがでしょうか。

○ 議長 島袋 義範 君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城和廣君

一般質問でもございましたので、関連すると思いますけれども、当初、伊江港のうねり対策の抜本的な見直しの管理につきましては、今の亀里議員、お説の伊江港の西側の機能強化を強く求めてきたところがございます。そのフェリーを西側に避難をさせ、今いる救急搬送船をまた少し移動させないといけませんけれども、そして遊漁船も確保し、その機能強化に向けて、そういう内容にしたらいのかなということもありましたけれども、南側の防波堤の拡張をしないといけないという等々の事業費等の問題もあって、まずは伊江港から進めながら、その後県と一緒に、一体となって現在、これから進めようとしている伊江港西側の機能強化に向けて、一緒になって取り組んでいきたいということでの計画をして、今これから進めていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎議員

今年の100万円の調査費が、先ほども申し上げましたけれども、本当の意味のすばらしい私は調査費だと思えます。委託料だと思えます。そして最初にクリアすべきことは、やはり「みらい」の発着場もあります。そして漁協関係、遊漁関係の皆さんもおります。その辺との調整を綿密にさせていただいて、ぜひ百年の計として、この計画をぜひ推し進めて、自信を持って推し進めていただきたいと思えます。

そして対外的にぜひ、どしどし宣伝していただいて、今こう1人歩きをしている噂が、事実ではないということを実証していただきたいということを、強く申し上げて、質疑を終わります。ありがとうございました。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

私からもお答えをさせていただきます。伊江港の整備計画については、これまで基本的にこの港内のうねり対策、要するに台風通過後とか、南西からの風のときのこの海流の港内への越流によって、フェリーが接岸できなくて、運航できないということを多くの皆さんから御指摘も受けておまして、県もこれは非常に認識をしておまして、そういう部分でここ二、三年精力的に調整をしてきて、今回のこの3つの事業の提案を県から受けているところであります。そういう中で当初、伊江村としてはこの抜本的にこの港内の静穏度で100%、南西からの風のときの現在の状況を改善するためには、西側のほうの改修を強く要望してきたところがございますが、島袋 勉議員の一般質問でも答えたとおり、いろんな事情、一番は費用対効果、あるいは環境保全の問題、あるいはほかに港湾区域の問題、たくさんありまして、とりあえず県の港湾課長も含めて調整をしたときに、現状の県が91%から98%に改善できるという調査結果をもとにした、この工事を進めながら5カ年かかりますので、その間に西側の村が要望している先ほど来ありますように、そういうクルーズ船に対応した、西側の整備。そして将来的には30メートルぐらいの台風では、伊江港でも係留できるような港湾の施設を村として今後、マスタープランをつくって要請をしていくので、県も一緒にやりますという部分で確認をして、東側の港内の今回の静穏度のうねり対策の工事に、私は県の同意も得てオーケーしたというふうに思っておりますので、この工事が始まって3年後ぐらいには、ちゃんとこう図面を書いて、県に要請をして、西側の抜本的な伊江港の改修計画を要望、要求していきたいと思っております。

今回の100万円の予算措置は、ある程度の計画平面図、大体どのぐらいの事業費がかかるかということ、この今回の業務委託の中で策定をして、そこをもとに今後、県との毎年ヒアリングがありますので、そうい

う中で、強く県に要望をしていきたいと思っています。そこを実現するためには、当然議会の皆さんの協力も必要だと思いますし、ひいては村民大会とかの要望大会、あるいは県議、あるいは国会議員の支援も後には必要になるかもわかりません。それぐらいやらないと、西側の改修という部分はなかなか厳しい、相当の金額もかかりますので。将来的な伊江港の抜本的な改革に向けての最初のスタート部分の、この業務委託料の実施設設計費と捉えていただければ、ありがたいと思っております。その分ができたときに、また議会の皆さんにもその辺の部分を説明しながら、一緒になって、やはり離島ですから、離島の発展、あるいは村民の生活のためには、やはり港湾の整備が重要だという認識は一緒ですので、そういう部分でぜひ、一緒に頑張っていければと思っております。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

71ページ、説明で聞き漏らしたかもしれませんが、14節使用料及び賃借料の中の102. 刊行物掲載価格情報利用料について、いま一度説明を説明を求めます。

それと次の73ページの1目空港管理費の中に13節委託料の中に、警備委託料がありますけれども、この警備について、どのような方法で警備を委託をしているのか。その2点、お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城和廣君

14節の102. 御質疑にお答えします。

設計の単価入れかえの、刊行物の購入費でございます。営繕工事標準単価表、配布回数が年2回から4回となるための増額となっております。その内訳といたしまして建築物物価調査会、それから経済調査会等々がございまして、合わせて22万7,000円の計上でございます。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

73ページの空港管理費の委託料の102. の警備委託料なのですが、まずは私の説明不足でおわびをしたいと思います。去年の平成28年度の予算書には、報酬の中で土日受け入れ業務の嘱託員報酬ということで計上してございました。実はこの部分をこの警備委託料という名目で組み替える措置でございまして、土日のこの運用時間内については、庁舎の職員ではなくて、委託している方に土日のこの受け入れ業務、そして警備、そういったものをやっていたためのものでございまして、報酬からこちらに組み替えた措置であることを説明漏れがございました。おわびしたいと思います。よろしくお願ひします。

○ 議長 島袋義範君

進行します。9款消防費、76ページと77ページまで。〔「進行」の声あり〕

しばらく休憩します。

(休憩時刻14時30分)

再開します。

(再開時刻14時48分)

10款教育費、78ページから101ページまで。

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

81ページ、2目事務局費、細節122. 124. 預かり保育料、それから預かり保育支援について伺います。まずここでは預かり保育という言葉、用語を使っているんですが、預かり保育とそれから学童保育、その用語

について、その定義について、説明をしていただきたい。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東江民雄君

定義ということで質疑にお答えします。

「預かり保育」と申しますのは、幼稚園が通常の教育時間の前後、そして土曜、日曜、長期休業中に、幼稚園が行う教育活動のことを預かり保育といいます。

「学童保育」につきましては、放課後児童福祉法に基づきまして、放課後児童健全育成事業といたしまして、小学校に就学している児童生徒に対して、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的とした事業が学童保育として、幼稚園生には該当しないということでございます。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

村長の施政方針に今後、30年実施に向けて、幼稚園2年保育の実施をしていきたいということが、施政方針の11ページにあります。

その次のページに、この幼稚園の2年保育をするのは、保育事業において、待機児童の解消を図る上での抜本的対策が目的、2年保育の目的、待機児童を解消するための抜本的対策というふうに書かれています。幼稚園の2年保育について、保護者に対しては、そういう方針があるということを説明されましたか。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

これにつきましては、預かり保育検討会を持ちましたときに、3学校のPTA会長、それから村PTAの会長に参加してもらいまして、一応は説明をしております。保護者に対しては、平成29年度に入ってから説明をしていくということになっております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

この予算書では、預かり保育と、それから学童保育の区別がないんです。預かり保育は、幼稚園施設内に設置するのが普通だというふうに言われていますが、預かり保育をやっている市町村、これは調査されていますか。それと学童保育についても、調査されていますか。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

伊江村においても、この子育て支援法ができたときに、どのような方法でやっていけばいいのかについて、一応は検討は進めていきまして、県内の市町村を学童、それから預かり保育を調査してきました。件数につきましては、数字は確認はしておりませんが、そのときに、民間活用という形で、これまで実際に島のほうでは、預かり学童にこの支援法ができる前までは学童と言っていたわけなんですけれども、それが実施されておりましたので、その活用のほうがよいのではないかとということで、それに向けて民間のほうと連携をしながら、これを実施しております。

○ 議長 島袋義範君

10番名嘉 實議員の本件に関する質疑は、既に3回になりましたが、会議規則第55条ただし書きの規定によって、特に発言を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

預かり保育については、本来ならば行政がやるべきことだと私は思いますが、民間に丸投げしているという状況ではないですか。どうですか。

○ 議長 島袋義範君

副村長 名城政英君。

○ 副村長 名城政英君

ただいまの関連して、後ほど教育長からお答えしていただきたいと思いますが、実は伊江村における歴史的なものからお話をしたいんですが、実はこの現に言う、預かり保育というのは、幼稚園生の午後の保育ですね。今は延長保育をして、現状は幼稚園は2時まで保育をしてもらっているわけです。しかし、働く保護者にとっては、その後、幼稚園生の居場所がないということから、今は預かり保育ということで、2時以降、約5時半から6時くらいまでの間で、各市町村でもこの預かり保育を実際にされています。しかし、伊江村においては、その公立の幼稚園でもっての預かり保育はずっとやっていないわけです。それを先んじて、やっていたのが、民間の現青空保育学童であります。そこで私の教育長のころからそうなんですが、それらに向けてアンケート調査を実施しようとしたときもあるんですが、そのときは2年保育の話もしました。つまり2年保育、4歳を幼稚園に上げて、その当時から、現保育所が満杯状況にあるということもあって、早目に4歳児を幼稚園に上げて、2年保育をしようということを実施、検討もしたんですが、そのときに、4歳児の子どもは保育所にいるときには、6時まで預かってもらえるのに、2時に、午前中で帰されたら困るということもありますし、まだまだ平成27年度の子育て支援法ができるまでの間、その件については、公立の幼稚園で預かったとしても、その補助金制度がなかったんですよ。ですからどうしても私立であったり、私立の幼稚園のものにしかさせられないということもありました。

もう一つは、学校の改築計画があるということもあって、なかなか学校当局ともその2年保育については、話がなかなか進めきれなかったということと、現幼稚園職員、当時の幼稚園の職員だけで、幼稚園の職員が預かり保育をするわけではないんですよ、実はですね。幼稚園は幼稚園の職員として、午後の保育の預かり保育については、また新たな職員を雇って、その保育をしないといけないということの諸課題があったわけです。ですから、実際にもう既に平成15年、16年ぐらいからスタートをしてやっていた民間の学童保育に、それらは任そうということで、委託をするかということで決めたのが、平成22年、23年ぐらいでありました。平成24年ぐらいにも、そういった話が出たんですが、これは学校の改築が終った後に検討していこうということになったわけですが、それがまさに今いう、教育委員会がやっている2年保育の検討委員会であります。

ただ平成27年度に子育て支援法ができて、伊江村ではやっていなかったんですが、県が村外では学童保育クラブというのがあったんですよ、「学童クラブ」というのが。それらは幼稚園生も小学生の低学年も預かることができたんですが、平成27年度の子育て支援法ができたために、幼稚園生を預かることができなくなったんですよ。それがまさに新聞によく載っていた5歳児問題です。それがそうなんです。それらが今、ほかの市町村でもその学童クラブというのは、小学生しか預かることができなくて、学校当局、幼稚園当局、公立の幼稚園で預かれない子どもは、ほとんどが私立の学童、私立の保育所とか、そういったところには預かっている現状のある市町村もあります。

先ほど、名嘉議員が話をした市町村でどうしているかということについてのものは、実際に教育委員会と

しては、数的にはまだ調査していないはずですが、実際に公立の幼稚園で預かり保育をやっているところもあります。国頭村とかされているんですよ。公立の幼稚園の中でその預かり保育をやっているんですが、午後の保育については、保護者が責任をもって、保護者が人を雇って運営をしていると。学童ではなく、預かり保育。

以前は、この預かり保育も保護者が経営しているんですよ。そういったこともあって、先ほどから言う、公立のところ、市町村がやるべきことではないですかというのは、まさに私はそのとおりだと思います。しかし、伊江村の現状で言うと、なかなか現時点ではいろんな課題があるので、スタートできなかったところについては、否めないところでもあります。

ただし、民間がやっているところについては、それらを活用してやっていこうということで、これまでも子育て支援計画の会議の中でも、民間ができるところは民間にさせていこうということについて、子育て支援計画の中でもそういう計画をつくりあげて、今やっているところでもあります。今後は2年保育をした時点で、ただ4歳児は公立の幼稚園で、5歳児は民間に任せましょうということが出来るのか。それとも今の施設の中で、公立の幼稚園の中で、この2年保育、4歳児も、5歳児も預かり保育ができるのかというのは、これからの検討事項だと思います。それには施設の問題であったり、指導者の問題であったり、いろんな問題がありますが、それに課題をあげていって、この年度内でそれを調整をして、そして民間に預ける父兄もいます。公立の幼稚園に預ける保護者もいますよということで、選択肢を2つ持つことも可能だと思いますし、これはこれからの課題だと。これからの検討事項だというふうに思いますので、そういうことで、今のところはこれまでもずっと継続をして、仕事をしながら子どもを預けることができなかったところは、民間の学童に今、お願いをしてやってきたというところでもあります。

○ 議長 島袋 義範 君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里 徳成 君

この預かりを民間に丸投げじゃないかということと言われては、今おっしゃっているんですけども、実際は行政のほうとしても、保護者負担の助成、それから実際この民間でやっている場合の運営の委託金等ですね。それから今回は保護者のほうから送迎の車をもっと充実させてほしいということで要望もあって、予算化もしております。現在、伊江幼稚園、西幼稚園のほうに、車2台でお迎えに行くわけなんですけれども、一方はやはり遅くなりますので、1人先生を先に行っていて、幼稚園生を預かっておいて、西小を運んだら、その次に伊江小に行く、次は伊江小から先にやれば、西小にはまた先生を配置してというふうに、臨機応変に子どもたちが一人では待たないような対応もしております。そのときに車2台を活用してございまして、なかなかそういう確保も難しいということもあります。そういうのも含めて今回、支援をしていこうということで予算化をしております。

済みません。少し足りなかったようでもありますので、平成30年に向けて今、4歳児、5歳児の預かりについては、再度検討もしてまいります。預かりについてですね。

○ 議長 島袋 義範 君

休憩します。

(休憩時刻15時04分)

再開します。

(再開時刻15時08分)

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

歳出の86ページの7節の賃金1001. と、それと戻りまして、81ページの同じく7節の賃金1001. 1002. の学習支援員配置事業の、平成29年度の募集等、今の現状はどうなっているのか。

それと戻りまして、88ページの細節の20. 303. 修学旅行援助費のほうで、去った土曜日ですか。中学校の卒業式、議員皆さんも出席されました。その中で、その卒業式の資料の中で、アンケートの調査がありましてPTAのほうから2年生の修学旅行を希望したいと。その理由として、中学校には体育大会、そして11月に修学旅行等が今計画、ずっとあるんだけれども、受験勉強等を考えると、子どもたちのその時期の修学旅行はすごい重荷ではないかと。民泊をされている皆さんも多々承知だと思いますが、県外では、中学校2年生時に修学旅行をされている中学校が大分あります。そういった中で、今後中学校の2年生の修学旅行をぜひ検討する時期に来ているんじゃないかと思います。その辺も含め、新年度からそういった検討も必要ではないかと思いますが、その辺について、教育委員会はどう考えているか。お伺いします。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東江民雄君

86ページと81ページの賃金の中で、学習支援員についての御質疑にお答えいたします。

現在、各学校4名ずつの支援員を募集いたしまして、現在、各学校3名ずつ、合計9名の支援員が決定しております。その新学期が始まるまでも、まだ募集をいたしまして、引き続き募集をして、満額の人員を配置していきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

教育長 宮里徳成君。

○ 教育長 宮里徳成君

修学旅行についてでありますけれども、2年生が実施したらどうかということですが、これにつきましては、先生方と一緒に行くことが必要でありますので、その旅費につきましては、県費になります。そういうことで、今3年次、2年次の2カ年分をとらないといけないということがありますので、3年から2年に移行するためには、それで今その2年分の予算組みを平成29年度において、県のほうと調整をして、早ければ30年からは実施できればということで、今校長と調整しているところです。

今、議員のおっしゃるとおり高校入試等で、ほかの学校等も2年次に移行を大分しておりますので、伊江中においても、それに向けて今、取り組みを始める予定であります。

○ 議長 島袋義範君

2番 島袋 勉議員。

○ 2番 島袋 勉 議員

はい、わかりました。ぜひですね、平成30年には、移行できるように、2年次に修学旅行に移行できるように調整していただきたいと思います。学校の運営に当たって、運営サイドではなく、まず考えるべきは、その児童生徒の学習に臨む環境づくりが一番のメインでありますので、学校運営する先生方の業務的なものも第一だと思いますが、まず第一に考えるべきは、生徒の環境、学習に臨む環境だと思いますので、その辺は重々、考えてできるだけ平成30年に向けて実施できるように、よろしくお願ひしたいと思います。

それと学習支援に関しては、今説明で、各学校3名は確保されているとありました。平成28年度においても、何回か聞き取りしましたが、結局は最後まで確保できない状況も聞いておりましたので、これは年間通して、欠員が出ている場合は、ぜひ年間を通して、その確保に尽力していただきたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎 議員

80ページ、19節負担金補助金及び交付金に関連しまして、本来なら、決算審査でやるべきとは思いますが

れども、あえて質疑をさせていただきます。

関連しまして、昨年度同様、去年の予算書の細節で123. とありまして、沖縄の太陽記念碑建立実行委員会助成金ということで100万円計上されておりました。今回、この123. が削除されました。ということは、この沖縄の太陽記念碑建立実行委員会という組織の役目は果たしたということなんでしょうか。いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東江民雄君

今、実行委員会ということではなくて、期成会「沖縄の太陽 黒田操子記念碑 建立期成会」という会を組織、真謝区の有志の皆さんを主体に組織してございまして、その中で、この記念碑の発注を進めているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎 議員

昨年の予算書には、建立実行委員会とあり助成金で表記されています。どういう進捗状況なんでしょうか。そして場所とか、そういうのも大体決まっておるのでしょうか。そして、いつごろの建立になるんですか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東江民雄君

補助金といたしましては、建立実行委員会と当初の名目でございましたが、その中で、その有志の方といういろいろとお話をしていく中で、建立期成会ということで、組織をもっております。その中で、上にある石をそのまま移動するのではなく、新たに石碑をつくりまして、城山中腹にということで、現在調整しております。そしてこの建立は、今月末、24日ごろを建立するということで調整をしているところでございます。

○ 議長 島袋義範君

8番 亀里敏郎議員。

○ 8番 亀里敏郎 議員

今月ですね。安堵しました。場所は、どこなんでしょうか。具体的に。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東江民雄君

今、城山中腹の打豆節の碑がございしますが、それと南側にスロープ、打豆節の歌碑ですね。と、そのスロープがございまして、そのまた南側に真謝区に向けた方向に、その小さな1メートル20、30センチぐらいの歌碑なんです、それを建立するということでもあります。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻15時19分)

再開します。

(再開時刻15時20分)

教育行政課長 東江民雄君。

○ 教育行政課長 東江民雄君

先ほど、歌碑と申し上げましたが、顕彰碑の誤りであります。訂正いたします。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻15時21分)

再開します。

(再開時刻15時22分)

進行します。11款災害復旧費。102ページから103ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。12款公債費。104ページ。〔「進行」の声あり〕

進行します。13款諸支出金。105ページから107ページまで。〔「進行」の声あり〕

進行します。14款予備費。108ページ。〔「進行」の声あり〕

歳出、全般にわたって質疑を許します。11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

4款衛生費、39ページ。15節工事請負費の中で1314. 明るい村づくり事業、説明の中で、街灯設置200基とお伺いしましたがけれども、そのとおりでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城和廣君

細節1314. 明るい村づくり事業でございますが、一括交付金事業を活用し、前年度に引き続き、16キロワットLED街灯200基を予定しております。新規設置で30基、既設取りかえで170基を予定しております。設置箇所につきましては、これまで東地区、学校周辺ですね。それから東中央部分、区を中心にやってきましたけれども、新年度につきましては、西区域を優先として設置していきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

場所等についても、説明いただきました。その場所の役場周辺、住宅地外については、結構今、明るいところがあるんです。しかし島の西、東、特に今の西崎はそんなに夜通る機会がありませんけれども、東のほう、大分暗いんですよ。私の周辺からも「街灯がほしい」というような要望があって、例えばYYYホテルの東側にある宿泊所がありますけれども、その周辺あたりが大分暗いというような要望があって、この暗いことにはいいところもあるんですよ、また。例えば民泊を受け入れする場合に、私の家から外を見ると真っ暗なものだから、この暗さでは外には出れないという子どもがいるわけです。「どこに行きますか、こんな暗いところ」というところもあるわけです。ですけれども、私たち村民からすると、非常に不便であって、また夏場になりますと、ハブの出没ということも考えられるわけですから、よく夜、一、二時間あれば、村全体を回れると思うんですが、ぜひ夜のそのパトロールといいますか。そういうものも現場確認もしていただいて、今後においてもそういった街灯を設置していただきたいということで、これは村民からも、そういう要望があるものですから、ぜひ夜、見ていただいて、街灯設置についての場所を設定していただきたいと思いますが、いかがですか。

○ 議長 島袋義範君

建設課長 金城和廣君。

○ 建設課長 金城和廣君

現在予定している箇所につきましては、事業箇所ではヒアリング上で、設置箇所については、新規で30基、既設で170基を予定しております。新規設置につきましては、今後区長会等々で、調整をさせていただきます。その後、今回の村づくり事業というのは、この3年計画の最終年度になりますので、今後また別事業等々を含めまして、今後検討をして、政策とも調整をしながら検討してまいりたいと思います。

○ 議長 島袋義範君

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第3 議案第5号 平成29年度伊江村診療所特別会計予算を議題とします。

これから質疑を許します。

歳入、款ごとに質疑を許します。

1款診療事業収入、1ページ、2ページ。〔「進行」の声あり〕

4款繰入金。3ページ。〔「進行」の声あり〕

5款繰越金、4ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入、全般にわたって質疑を許します。〔「進行」の声あり〕

次に、歳出、款ごと質疑を許します。

1款一般管理費。1ページから5ページまで。〔「進行」の声あり〕

進行します。2款診療事業費。6ページ。〔「進行」の声あり〕

3款、予備費。〔「進行」の声あり〕

歳出全般にわたって質疑を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名 嘉 實 議員

委託料について、伺います。医療用廃棄物の委託料についてですが、細節109. 2つありますけれども、村内にも、そういう免許を持った業者がいるんですが、当局にもその相談があったと思いますが、これは今後どういうふうにしていく方針ですか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

医療保健課長 大城 強君。

○ 医療保健課長 大 城 強 君

医療用廃棄物処理委託料につきまして、村内の業者もいるということでありまして。これまで平成28年度までは村外の業者に委託をしておりました。平成29年度につきましては、一応は村内と村外の業者から見積もりをいただきまして、予算可決前ではあるんですが、一応は村内、見積もり合わせた上で、村内の業者に運搬はお願いをということをして今、話を進めております。

○ 議長 島 袋 義 範 君

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第4 議案第6号 平成29年度伊江村国民健康保険特別会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。

歳入、款ごとに質疑を許します。1款国民健康保険税。1ページ。〔「進行」の声あり〕

2款使用料及び手数料。2ページ。〔「進行」の声あり〕

3 款国庫支出金。3 ページ、4 ページ。〔「進行」の声あり〕

4 款療養給付費交付金。5 ページ。〔「進行」の声あり〕

5 款前期高齢者交付金。6 ページ。〔「進行」の声あり〕

6 款県支出金。7 ページ、8 ページ。〔「進行」の声あり〕

7 款共同事業交付金。9 ページ。〔「進行」の声あり〕

8 款繰入金。10 ページ、11 ページ。〔「進行」の声あり〕

9 款繰越金。12 ページ。〔「進行」の声あり〕

10 款諸収入。13 ページから16 ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入、全般にわたって質疑を許します。〔「進行」の声あり〕

歳出に入ります。歳出、款ごとに質疑を許します。

1 款総務費。1 ページから3 ページまで。〔「進行」の声あり〕

2 款保険給付費。4 ページから7 ページ。〔「進行」の声あり〕

3 款後期高齢者支援金。8 ページ。〔「進行」の声あり〕

4 款前期高齢者納付金。9 ページ。〔「進行」の声あり〕

5 款老人保健拠出金。10 ページ。〔「進行」の声あり〕

6 款介護給付金。11 ページ。〔「進行」の声あり〕

7 款共同事業拠出金。12 ページ。〔「進行」の声あり〕

8 款保健事業費。13 ページ、14 ページ。〔「進行」の声あり〕

9 款基金積立金。15 ページ。〔「進行」の声あり〕

10 款公債費。16 ページ。〔「進行」の声あり〕

11 款諸支出金。17 ページ。〔「進行」の声あり〕

12 款前年度繰上充用金。18 ページ。〔「進行」の声あり〕

13 款予備費。19 ページ。〔「進行」の声あり〕

歳出全般にわたって質疑を許します。2 番 島袋 勉議員。

○ 2 番 島 袋 勉 議員

歳出13ページ、13節の委託料に関連して質疑します。これ特定健診委託料は、これは住民健診と解釈してよろしいでしょうか。

住民健診に関してなんですが、私は東江上区に該当しております。去る2年ほど前ですが、東江上区で住民健診を受けました。午前中、時間どおり行きました。そうすると朝早く来られるのが高齢の皆さんです。そしてその各受診のところが、朝便じゃないと、その担当する看護師等がないから、「今はできない」と、「待ってくれ」という状況下がありました。そういう中で高齢者の皆さんは、早目に約30分から1時間ほど早目に来られて、待機されている皆さんが多々おられました。その中で、朝便で来ないと、今はいないので、対応が1人でしかできないので、待ち時間が大分ありまして、午前中で、早ければ11時ごろには終わるものが、結局は昼食時間を超えて帰られた方も多々いる状況下でした。そういったことも踏まえて、住民健診等を受けられる皆さんの、そういった負担も考えて、これは医師会、北部医師会に委託ですよね。その人員配置に関して、そういったこともあるんですが、継続して住民健診は月曜日から金曜日までずっと継続するんですが、人員配置に関して、そういったことがないように、十分気をつけるように要望できないでしょうか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

住民課長 西江 忍君。

○ 住民課長 西 江 忍 君

議員お説のとおり、今回、採血の先生でしょうか。たまたま人手が足りなくて、1便で本島から渡ってきている状況がございました。この件につきましては、医療保健課長はじめ、住民課または保健師、このE&Cセンターの職員等も含めまして、平成28年度の住民健診が終わった段階で、反省会ということで、いろんな反省事項もお互い持ち出しまして、調整を行っております。また今回の件につきましては、平成29年度からは、そういうことがないように、こちらからも改めて反省会においても要望をしまして、また今回平成29年度、住民健診を行うに当たっても、また再度、こちらからも、そのようなことがないように適正な人員を配置するよう、またこちらからも要望していきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

歳出全般ございませんか。〔「進行」の声あり〕

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思えます。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第5 議案第7号 平成29年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。歳入、款ごとに質疑を許します。

1款後期高齢者医療保険料。1ページ。〔「進行」の声あり〕

2款使用料及び手数料。2ページ。〔「進行」の声あり〕

4款繰入金。3ページ。〔「進行」の声あり〕

5款繰越金。4ページ。〔「進行」の声あり〕

6款諸収入。5ページから8ページまで。〔「進行」の声あり〕

歳入全般にわたって質疑を許します。〔「進行」の声あり〕

歳出いきます。

1款総務費。1ページ。〔「進行」の声あり〕

2款後期高齢者医療広域連合納付金。2ページ。〔「進行」の声あり〕

3款諸支出金。3ページ、4ページ。〔「進行」の声あり〕

4款予備費。5ページ。〔「進行」の声あり〕

歳出、全般にわたって質疑を許します。〔「進行」の声あり〕

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思えます。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程に入るに先立って、一般会計のほうで、7款のホースパークの件で、3番山城善彦議員への答弁漏れがありましたので、答弁をさせたいと思えます。

商工観光課長 万寿祥久君。

○ 商工観光課長 万寿祥久君

先ほどの一般会計の予算の中で、7款商工費、64ページの15節工事請負費、細節1329. 自然と乗馬ふれあ

い体験による観光振興事業に関連いたしまして、ホースパークのコース内ごとの売り上げについての御質疑をいただきましたが、先ほど指定管理先であります伊江島ビーチサイドホースパークのほうに確認をいたしましたところ、コースごとの売り上げの集計はとっていないという御報告がありました。ちなみにコースというのは、いろんなサービスのことを指すと理解しておりますが、通年、乗馬サービスのメニューとしまして8種類のメニューがございます。夏期間限定では、海の中に入るんですね。海遊びという期間限定のメニューがございます、トータル9種類のメニューを取り揃えて、営業をしているということでございます。平成27年度に導入いたしました調教馬4頭の実績につきましては、9月以降本格的に利用している状況でございます、4頭、合計で2月末現在で285回の利用実績がございます。今年度指定管理の更新をさせていただきますが、その申請時におきまして、平成29年度の売り上げの事業計画というものをいただきましたが、その中では平成29年度はこれはあくまでも計画でございますが、9,760万円の売り上げ目標を立てた計画を今…。年間売り上げが976万円余の計画を立てて、今経営をしている状況でございます。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。 (休憩時刻15時45分)

再開します。 (再開時刻16時00分)

日程第6 議案第8号 平成29年度伊江村水道事業会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。

収益的収入、一括して質疑を許します。

11款水道事業収益。15ページ。

収入、ほかに質疑ございませんか。進行してよろしいですか。〔「進行」の声あり〕

収益的支出、一括して質疑を許します。

21款水道事業費用。16ページ、18ページです。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

27節受水費について伺います。説明では県企業局からの受水費を受水量ですか、90%の予定だということでした。昨年9月の決算審査意見書の表では、平成23年度から平成27年度まであるんですが、平成26年度までは80%台でした。ところが平成27年度は90.4%というのが企業局依存度でした。この理由は自己水源、湧出の自己水源からのくみ上げ量が減ったということで、これはポンプの故障だったと思うんですが、湧出の水源池をこの間、ポンプ小屋を見てきたんですが、ポンプ小屋、動力のあったところは鉄板でもうビスボルト留めされて入ることができません。あと、西あるいは東側の小さいほうですか。向こうは動いているようですが、村長の施政方針の21ページにも、自己水源の有効活用に努めるということが書かれています。そういう施政方針に照らせば、自己水源について、もっと吸い上げる能力を高める必要があるのではないかと思いますのですが、どうですか。

○ 議長 島袋義範君

公営企業課長 西江 正君。

○ 公営企業課長 西江 正 君

この自己水源、3カ所ございますけれども、そこからの水量利数が上がってっていないのが現状でございます。85%の県企業局からの購入水がここ何年か90%あたりになっております。当然、3水源の中、自己水源の3カ所の中で湧出水源が中心でありまして、そこが機能しなくなると、購入水に依存していくということになります。また、改善を図りますというお答えをしながら、新年度予算においても、90%の購入水を計上いたしております。なかなか自然に左右される場所でありまして、高波でありますとか、そういうときには塩分濃度が上がります。そうしますと自動的にくみ上げをストップするシステムになっておりまし

て、そういったことが続いております。また御指摘がありましたとおり、ポンプの故障等もございまして、二、三カ月止まった経緯もございまして。そういった中で、その都度修繕をし、また改善に向けてということをやっているつもりなんですけれども、なかなか根本的な改善には至っていないというのがあります。そういったところからいきますと、やはり新年度も90%は企業局からというような見通しの中で、予算は計上しております。なかなかこう限られた予算の中で、改善を進めていくというのも限られたものがあります。老朽管の取替工事も基金事業でさせていただいておりますけれども、その基金事業も配管取替工事だけではなくて、水道施設、浄水場あたりの施設に関しても適用が可能であるということも伺っております。今後においても、老朽管取り替えも当然ですけれども、そういった施設の改修に向けても年次的な計画を立てて、進めてまいりたいと考えております。

自己水源の取水、パーセントが低いという御指摘でありますけれども、今のところ、その改善には至っていないということでもあります。ただ先ほど、申し上げたとおりでありまして、基金事業、補助事業を活用しながら、施設面も改修をしていく方向で進めていきたい。やっていきたいと考えております。

○ 議長 島袋義範君

10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實 議員

自己水源の水源別水量の推移を見ますと、平成23年度湧出が16万5,312立方メートル、平成24年度が9万4,834立方メートル、平成25年度が8万9,051立方メートル、平成26年度が9万7,336立方メートル、平成27年度が4万2,094立方メートルと、極端に平成26年度に比べても半分以下なんです。聞くところによると、自己水を使うよりも買ったほうが安上がりだということも聞いたこともあります。

村長の施政方針でも自己水の確保に、有効活用に努めると書かれているんですが、村長、歴史のある湧出の水源の確保について、これはどういうふうに考えますか。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

自己水源を活用して、なるべく県企業局からの受水を抑えて、水道事業の健全運営に資していくというのは、全体的に共通の認識だろうと思っております。そういう中で気象的な影響もあるかもわかりませんが、3自己水源の取水からの利用料は、名嘉議員がおっしゃるとおり年々減ってきているという現状だというふうに認識をしております。できれば湧出の水源の部分のポンプ、その辺の機能アップ強化で、もっと有効的に湧出の水量を確保できないかというようなことでの御質疑だというふうに受けておりますが、現状の中でそういうのが可能なかどうなのか。これまでずっとやってきた既存の部分を活用しながらやってきたということは否めない。その辺の部分をもっと大型化、あるいは機能強化をして、もっと現状の湧出の水源の水が、どのぐらい取水して活用していくかという部分も、今後検討すべきものだと思っていますから、そういう中で台風のときの海水の越波流入等によって、モーターが動かないとかいう部分もありますが、その辺の部分も根本的にポンプアップする位置、適切な場所なのか。過去にそういうところが一番いいということで、現在のところにポンプ小屋は設置されていると思っておりますが、もっと上のほうで海岸からの海水の流入ができないような、もっと陸側のほうで受水できるのか。受水できたときには、結局掘り込まないといけませんから、その辺の費用対効果の部分になっていこうかと思っておりますので、そういう御質疑もありますから、これまでの部分をずっと活用しながら、湧出の水の水源としての活用をしていきましたが、御質疑のとおり、ここで立ち止まって、今の部分の取水の方法というものを根本的に一回、みんなで考えていくいい機会にしたいと思っております。そういう中で、施政方針に書いてあるように、自己水源の確保につながって

いければいいかと思って、今そういう質疑を聞いて、そういう感じで今受けとめております。

○ 議長 島袋義範君

進行します。次に、資本的収入及び支出、一括して質疑を許します。31款資本的収入及び支出、一括して質疑を許します。31款資本的収入、41款資本的支出、19ページ、20ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入、歳出、全般にわたって質疑を許します。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思えます。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第7 議案第9号 平成29年度伊江村船舶運航事業会計予算を議題とします。

これから質疑を行います。収益的収入一括して質疑を許します。

11款船舶運航事業収益、15ページ、16ページ。

収益的支出、一括して質疑を許します。21款船舶運航事業費用、17ページから22ページまで。

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

19ページ、16節について、質問する前に、長年役場職員として頑張っていた我が同僚でもあるんですけども、公営企業課長の西江正さんも、あと残すところ2週間足らずとなりました。彼の功績に本当にご苦労さんと言いたいです。お疲れさんでした。それで彼に対する私の今回最後の質疑だと思いますけれども、印刷製本費の中の販売機ロール紙が236万7,000円かかっております。これは一応、本部町にある販売機と伊江島にある販売機のロール紙だとは思いますが、実は昨年度からその販売機が伊江村と本部町に設置されて後、伊江村民としては余り気づかなかったんですけども、去年あたり私、伊江村の同出身の方から、いろんな意見を聞かされて、「渡久地議員として、本部町の切符売り場を見たことがありますか」と、「私たちは往復切符を伊江島で買うために、なかなか本部の発売所は余り立ち寄りません」と言ったら、「まずちょっと見てくれませんか」ということで、2回ほど帰りがけであったり、また行くときもあったんですけども、見たら何と券売機に人が並んでいると。そして時間も時間、ぎりぎりまで待たされて、船も遅れそうになるぐらいまで、この本部の係員が汗だく流して、本人は慣れていますから、ぱっぱっとやってあげますけれども、個人で買うとなると本当に確実に乗りきれないことが起こっております。これは聞いてみますと、時間帯、朝8時こっちは、本部町からは9時だと、そして最終とかがそういうのが多くて、特に朝の9時は大変な状況が続いているということを伺いました。

そこで質疑します。今日まで窓口でも私がたまたま行ったときは、窓口にだれも一人もいなくて、この係員が一人で、ぱっぱっと村外出身の方々にお金を入れて、ぱっぱっとして、何とかやって、二、三分前までに間に合った経緯も見て、これは大変だなと。せっかく入れたんだけど、このような状態が続いたら大変だと思ひまして、西江課長、これは今後どのような改善策はあるのかどうか。教えてください。

○ 議長 島袋義範君

公営企業課長 西江正君。

○ 公営企業課長 西江正君

券売機におきましては、利用されるお客さまの利便性向上ということで、総務課が行いました事業のホームページ改修事業だったと、覚えておりますけれども、その事業の中で券売機を2台、伊江、本部というこ

とで設置させていただいております。今渡久地議員からの御質疑、指摘を聞いております。伊江港におきましては、その券売機、それと窓口業務でさばいております。本部においては、従来の窓口販売であれば、出港ぎりぎりまで待たすということもなかったということとして、券売機に今、不慣れであるということがひとつありますけれども、窓口で通常、チケット販売をしている方が、不慣れな関係上、そこで指導をしていくという流れでやっております、結局は行列ができてしまう。出港何分前まで、ようやくぎりぎりまで船に乗れたということもあります。そういうことで、今後どうしていくかということになりますけれども、今回御審議いただいております平成29年度予算案の中に、本部港にも1名、臨時職員を増員するということが、賃金を計上をしております。そういう流れの中で、従来の窓口で1人座って販売をします。1人は券売機で当然、不慣れな方、ずっと続いていくでしょうから、そこで指導しながら券売機も使っていただくということでの解決策はできないかと思っております。ということで、1名増員分の人件費を計上いたしております。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地政雄議員

はい、わかりました。伊江村も実は券売機を一度だけ使ったんですけれども、やはり私たちでもなかなか使い慣れきれなくて、戸惑ったときに、後ろに二、三名並んでいたものだから、「あー、これはできないな」と思って、また窓口で購入したことが1回あって、それからなかなか券売機を利用する村民は余り見かけませんけれども、やはり本部町から来る方々は、伊江村に対して不慣れで、初めてのことで、本土みたいにぱっと改札機みたいに、かざせばぱっと出れるようなものがあればいいんですけども、まだこれが今回これもできていないということなんですけれども、オキカですか。何かこういうのもあるらしいんですけども、今後また一人の方を専属につけて、これの対処に当たるということで聞いておりますので、乗り遅れがないように、また村外から来るお客さんも、あわてないで乗れるということで安堵しております。

○ 議長 島袋義範君

進行します。

資本的収入及び支出一括して質疑を許します。31款、資本的収入23ページ、24ページ。〔「進行」の声あり〕

歳入歳出全般にわたって質疑を許します。10番 名嘉 實議員。

○ 10番 名嘉 實議員

運輸収益について、伺います。米軍関係の車両運搬について、車両も人間も含めてですが、去る12月にLCU、これは陸軍の揚陸艇ですね、軍艦で運ばれてきた水陸両用車、多機能型装甲車だということですが、これが基地内で訓練をして、翌日は海が荒れたためにフェリーで運ばれました。こういう上陸訓練に装甲車を軍艦で運んできて、帰りは海の時化のために、フェリーで帰ることが行われたんですが、職員の話では危険物があるかないか、確認はできないけれども、危険物を積んでない限り、拒否はできないと。運搬することを拒否はできないという話ですが、そういう装甲車は不気味ですよ。船に乗っている人も。そういう機関銃も積んでいる装甲車ですが、それを運ぶことについて、どういうふうに考えていますか。

○ 議長 島袋義範君

公営企業課長 西江 正君。

○ 公営企業課長 西江 正君

そういう事例がございました。議員御承知のとおりですけれども、海上運送法の13条、14条での拒否はできないという法律にのっとって、運搬はしているということですが、そういうことで運搬をしているわけですが、なかなかこうバージで入ってきて、またフェリーで乗っていくという事例もあるわけで

すけれども、最終的に考え方といたしましては、海上運送法、13条、14条をもとに、従前どおり乗船し運んでいるということであります。断ることは、難しいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

装甲車の輸送についての、法律的な海上運送法については、公営企業課長からありましたが、基本的にそういう訓練時の軍用車両については、軍用船での寄港しての練習にも反対をしていますし、要するにできれば、民間のバージを借りて、それで運んでほしいという部分が、基本的な考え方で、これまでも防衛局、あるいは通して米軍に申し入れをしているという部分で、法律的にそういう装甲車、普通の車でしたらいいんですが、やはり装甲車とかについては、やはり違和感も多少ありますので、今後そういう部分については、できる限り、民間のバージを活用して、利用して、そこで移動できるような部分を、沖縄防衛局を通して、米軍に今後とも強く申し入れていきたいと思っております。

法律的な部分としては、それでも米軍がこれでフェリーで行きたいというのであれば、拒否はできないということですが、その前にやはりそういうときには、可能な限り、民間のバージを利用、借りてそれで装甲車等は、移動してもらいたいという部分は今後、防衛局を通して、米軍に申し入れていきたいと思えます。

○ 議長 島袋義範君

これで質疑を終わります。

お諮りします。

本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思えます。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって本案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

これから予算審査特別委員会の委員長及び副委員長を互選していただきます。

しばらく休憩します。

(休憩時刻16時28分)

再開します。

(再開時刻16時35分)

これから報告します。

予算審査特別委員会の委員長及び副委員長が次のとおり決定した旨、通知を受けましたので、報告します。委員長に渡久地政雄議員、副委員長に知念一邦議員、以上のとおり決定されておりますので報告いたします。

以上で本日の日程は、全部終了しました。

本日はこれで散会します。御苦労さんでした。

(散会時刻16時36分)